



島文連

第27号

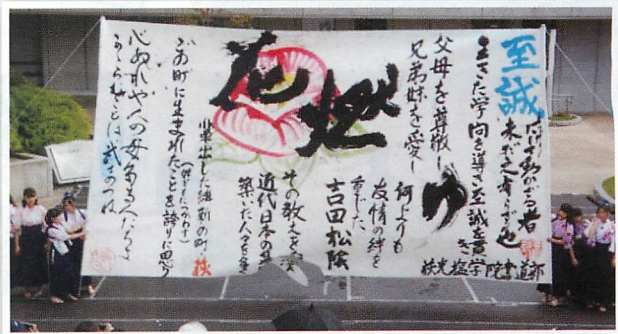


山口県高等学校文化連盟

山口県高等学校文化連盟には16の専門部会があります

演劇／器楽・管弦楽／合唱／吹奏楽／マーチング・バトントワリング／日本音楽／吟詠剣詩舞／
美術・工芸／書道／写真／囲碁／将棋／放送／文芸／自然科学／小倉百人一首かるた

平成27年度第37回山口県高等学校総合文化祭開会式は、ルネッサながとを会場に行われ、続いて、音楽4部門、日本音楽と各地で県総文祭が開催されました。



平成27年7月28日～8月1日、滋賀県にて第39回全国高等学校総合文化祭が行われました。山口県からは、県高総文祭で選ばれた代表（総勢182名）が、出場しました。



高文連

第 27 号

も く じ

ごあいさつ	1
第37回山口県高等学校総合文化祭総合開会式（音楽4部門発表会）の報告	2
各部門の報告	
演劇部門	5
合唱部門	7
吹奏楽部門	9
器楽・管弦楽部門	11
日本音楽部門	13
マーチングバンド・バトントワリング部門	15
美術・工芸部門	16
書道部門	19
写真部門	21
放送部門	23
囲碁部門	25
将棋部門	27
小倉百人一首かるた部門	29
文芸部門	30
自然科学部門	33
全国高等学校総合文化祭に参加して	35
自主事業・補助事業の報告	36

参考資料

平成27年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告	41
平成27年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書	42
平成28年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画	43
平成28年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書・調整基金会計予算書	44
山口県高等学校文化連盟規約	45
山口県高等学校文化連盟諸規程	49
山口県高等学校文化連盟表彰規程	50
山口県高等学校文化連盟旅費支給基準	52
平成27・28年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧	53
全国高文連の歌	55



ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟

会 長 吉 本 晃

ここに、平成27年度の山口県高文連の歩みを記した集録ができあがりました。

本連盟は昭和62年6月に発足し今年で29年になり、県内外のさまざまな文化・芸術活動への参加の拠点として、高校生の創造力の育成と豊かな心の醸成を支援し続けています。高校時代に文化部活動に関わることは、人生の幅を広げ、人間関係やものの見方にも大きな影響を与えると考えます。今後も、本連盟は各学校の文化部活動をつなぐ役割を果たしながら、高校生のさまざまな文化芸術活動を支援していきます。

さて、本年度の第37回山口県高等学校総合文化祭は、「創造の心 我らが描く大輪の花」をテーマに開催されました。みずみずしい感性でそれぞれの文化の魅力を受けとめ、『創造の心』で自分らしい表現を追求し、『大輪の花』を描いてくれた高校生たちからは、無限の可能性を感じさせられました。6月11日には、総合開会式が長門市において盛大に開催されました。当日は、近隣の高校生が多く会場を埋め、力強く情熱にあふれる高校生の合同演奏を楽しみました。代表生徒の堂々たるあいさつ、慶祝演奏、慶祝展示は、大輪の花のごとく、見応え、聞き応えのあるすばらしいものでした。

各専門部の大会は、5月の将棋部門・百人一首かるた部門をスタートとし、11月の美術・工芸部門の大会まで、7か月にわたって県内各地で開催されました。文化部は他校の生徒と一緒に活動する機会が少ないのが実情で、部門別の総合文化祭は生徒同士の貴重な交流の場となっています。また、各分野の専門家が講師や審査員として招聘され、直接指導に当たってくださるので、文化・芸術の深みに触れることができます。各大会を運営されました主管校や顧問の先生方にこの場を借りてお礼申し上げるとともに、今後も一層充実した大会にさせていただきますよう、お願い申し上げます。

7月には第39回全国高等学校総合文化祭（びわこ大会）が滋賀県で開催され、本県からは13部門、23校、182名が参加しました。囲碁部門で防府高校の西村君が個人戦2位と健闘してくれたのをはじめ、どの部門の生徒たちも持てる力を十二分に発揮して、本県を代表するにふさわしい演奏や競技、作品展示をしてくれました。全国のレベルを体感するとともに、他県の生徒たちとの交流も深まり、有意義な5日間となりました。持ち帰った全国の風を日々の活動に活かし、次年度の広島大会ではさらにより成果が発揮できるよう頑張ってほしいと思います。

そのほか、本連盟では高校生が優れた文化や芸術に直接ふれあって感性を高めることを目的に、自主文化事業や補助事業を企画し、希望の学校で開催しています。昨年から新たにプロとして活躍する本県出身のジャズバンドを補助事業に加え、好評を博しています。今後も、高校生の希望を取り入れながら、より多くの学校に参加していただける文化・芸術活動を積極的に企画していきたいと考えています。

終わりに、本連盟の活動に御支援、御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝し、厚くお礼申し上げまして、発刊の御挨拶といたします。

第37回 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式（音楽 4 部門発表会）の報告

主管校 岡 本 美 和
(大津緑洋高等学校教諭)

総合開会式（音楽 4 部門発表会）の記録

平成27年6月11日(木)～13日(土)、ルネッサながとを会場に「創造の心 我らが描く大輪の花」のテーマの下、山口県・山口県教育委員会・山口県高等学校文化連盟主催、長門市・長門市教育委員会共催、山口県中学校文化連盟後援で、山口県立大津緑洋高等学校及び長北地区関係高等学校を主管校として、第37回山口県高等学校総合文化祭総合開会式並びに音楽 4 部門発表会を開催した。予定したプログラムを滞りなく無事実施することができ、出演者や観覧者等、3日間でのべ約3,500人の参加を得て、盛会裏に終えた。

式典は、磯部晃平（大津緑洋高校）くんの開会宣言と長北地域高等学校吹奏楽団によるファンファーレ「天と大地からの恵み」で開幕した。まず、スライドとアナウンスにより、山口県高等学校文化連盟の16部門からなる専門部の紹介を行った。次いで、主催者を代表して、山口県高等学校文化連盟会長及び山口県教育委員会教育長が挨拶を行い、最後に大津緑洋高校を代表して大嶋正隆くんが挨拶した。その後、大西倉雄長門市長から歓迎の言葉をいただき、来賓を紹介した。最後に表彰を行い、上利晃代（大津緑洋高校）さんにテーマ最優秀賞を授与した。

慶祝演奏は、日本音楽、マーチングバンド、吹奏楽、合唱、器楽・管弦楽の演奏を行った。日本音楽は、大津緑洋高校箏曲部生徒10名が「はや瀬」を優美に演奏し、マーチングバンドでは、山口県鴻城高校マーチングバンド部が、部員35名の躍動感溢れる演奏演技により「マンジョーネ・マジック」を披露した。次いで、長北地区 6 校の吹奏楽部員71名で構成する長北地域高等学校吹奏楽団が、「蒼氓愛歌～三つの異なる表現で～」を壮大に演奏した。最後に、近年最大となる総勢214名の県内 9 校からなる山口県高等学校合唱団と75名の県内 4 校からなる山口県高等学校管弦楽団による合奏が行われ、「カンタータ《土の歌》より『大地讃頌』」「交響詩『フィンランディア』」を演奏し、会場を圧倒する迫力であった。閉幕に当たり、ステージと

客席全員で「翼をください」を合唱し、総合開会式を終了した。

慶祝展示は、劇場入り口付近のホワイエで行い、美術・工芸11点、書道11点、写真10点の県内の優秀作品や長北地域の高校生の作品を展示した。また、演劇、囲碁、将棋、文芸、放送、自然科学、小倉百人一首かるたの大会風景の写真パネルも展示し、文芸からは優れた文芸部誌も出品された。展示は、音楽 4 部門発表会開催日 2 日間も引き続き行った。大津緑洋高校 1、2 学年及び長門高校 1 学年の生徒全員が観覧した。

音楽 4 部門発表会では、2 日間にわたって、県内53校61団体、出演者総数2,097名が出演し、演奏、演技した。最少 4 名の団体から最大112名の団体まで、幅広い構成の中、どの団体も日頃の練習の成果を発揮し、それぞれの特色やよさを生かした演奏を披露していた。

<出演団体の内訳>

演奏形態	第1日		第2日		合 計	
	12日(金)		13日(土)			
	出演 団体数	出演 者数	出演 団体数	出演 者数	出演 団体数	出演 者数
管 弦 楽	1	66	1	65	2	131
弦 楽 合 奏	1	23	1	27	2	50
マ ン ド リ ン	1	18			1	18
管弦楽・合唱	1	112			1	112
合 唱	1	9	5	156	6	165
吹 奏 楽	24	848	23	718	47	1,566
マーチングバンド	1	35			1	35
バトントワリング	1	20			1	20
合 計	31	1,131	30	966	61	2,097

両日とも、最後に、ステージと客席全員で「翼をください」を合唱して終えた。大会式を発表会第 1 日の12日の最後に実施し、器楽・管弦楽部門会長である下関南高校校長が挨拶を行った。

成果として、次のようなことが挙げられる。

- ・大会全体を通して円滑に進行し、舞台の転換も迅速に行うことができ、総合文化祭のオープニングセレモニーとして立派な素晴らしい大会とすることができた。
- ・写真と説明による分かりやすく、丁寧な専門部紹介や、高校生らしく、好感の持てる代表生徒の挨拶、高校生の一生懸命さが伝わる演奏・演技、客席の温かみのある鑑賞、見やすい位置に工夫して県下の作品を展示した慶祝展示等、金子みすゞの「優しさ」に通ずる親しみのもてる大会となった。
- ・県内全域から多くの高校生が出演し、相互に交流を深め、高校生の創造活動の向上を図るとともに、長北地区の生徒とも交流し、長北地区の文化環境の充実に資することができ、芸術文化の振興に寄与することができた。
- ・大会期間の3日間、一日約120名超の長北地区の生徒が補助員として各種業務に主体的に、積極的に携わり、誠実に業務を遂行して、円滑な大会運営を支えるとともに、自己有用感や自己肯定感等の涵養を図ることができた。

■総合開会式 6月11日

◎式典

◇開会宣言 磯部 晃平（大津緑洋高等学校）



◇ファンファーレ 『天と大地からの恵み』

【演奏】 長北地域高等学校吹奏楽団

萩 萩商工 奈古 萩光塩学院 長門

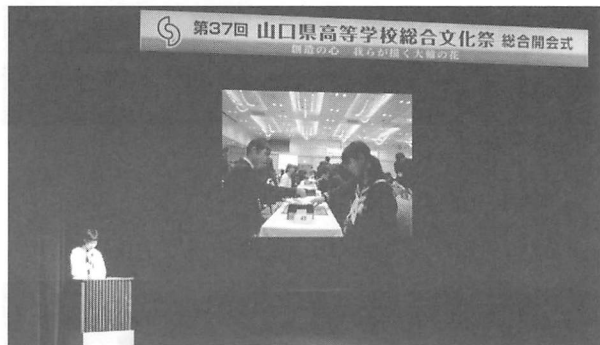
大津緑洋 各高等学校

〈指揮〉 杉本 宇（萩商工高等学校）



◇専門部紹介

演劇 器楽・管弦楽 合唱 吹奏楽
マーチングバンド・バトントワリング
文芸 日本音楽 美術・工芸 書道
写真 囲碁 将棋 自然科学
小倉百人一首かるた 吟詠剣詩舞
(以上16部門)



◇主催者挨拶

山口県高等学校文化連盟会長

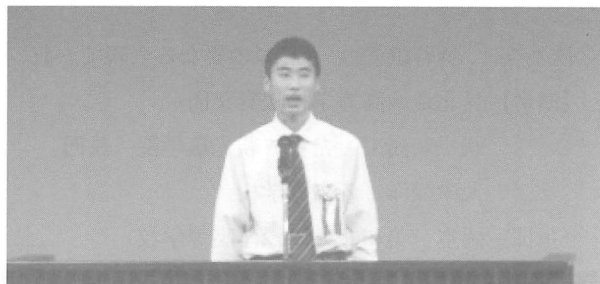
吉本 晃

山口県教育委員会教育長

浅原 司

大津緑洋高等学校生徒代表

大嶧 正隆



◇歓迎の言葉

長門市長

大西 倉雄

◇来賓紹介

◇表彰

功績賞

山口県立下関中等教育学校

教諭 飯田 幸生

テーマ最優秀賞

上利 晃代

(大津緑洋高等学校)



【進行】 大津緑洋高等学校生徒会

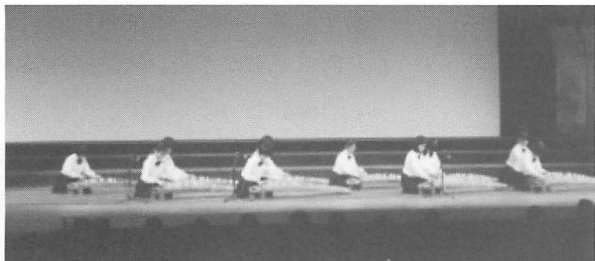
【ポスター原画制作者】 岡本 公平

(大津緑洋高等学校)

◎慶祝演奏

◇日本音楽 『はや瀬』

【演奏】山口県立大津緑洋高等学校箏曲部



◇マーチングバンド 『マンジョーネ・マジック』

【演奏】山口県鴻城高等学校

〈指揮〉内田 良一（山口県鴻城高等学校）



◇吹奏楽 『蒼氓愛歌 ～三つの異なる表現で～』

【演奏】長北地域高等学校吹奏楽団

萩 萩商工 奈古 萩光塩学院 長門

大津緑洋 各高等学校

〈指揮〉岡本 美和（大津緑洋高等学校）



◇器楽・管弦楽 合唱

『カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」』

『交響詩《フィンランディア》』

『翼をください』

【演奏】〔山口県高等学校管弦楽団〕

柳井 山口中央 防府 下関南

各高等学校

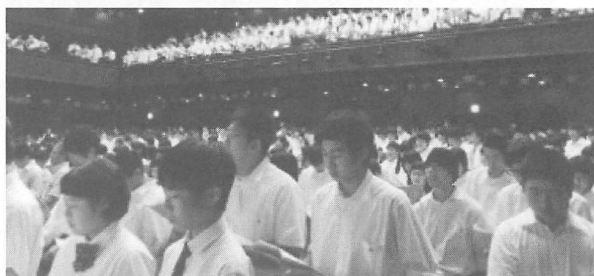
〔山口県高等学校合唱団〕

岩国 防府 山口 山口中央 宇部中央

萩 野田学園 萩光塩学院 慶進

各高等学校

〈指揮〉松屋 まなみ（萩高等学校）



◎慶祝展示

【作品展示】

◇美術・工芸

山口 萩 萩商工 萩光塩学院 大津緑洋

各高等学校

◇書道

山口 萩商工 萩光塩学院 各高等学校

◇写真

新南陽高等学校

【大会風景・文芸部誌展示】

◇文芸

【大会風景】

◇演劇 囲碁 将棋 放送 自然科学

小倉百人一首かるた



■音楽4部門発表会 6月12日、13日

◇〔器楽・管弦楽〕〔合唱〕〔吹奏楽〕

〔マーチングバンド・バトントワリング〕部門合同発表会



各部門の報告

演劇部門

理事長 新 竹 伸 芳
(宇部高等学校教諭)

1 演劇部門活動報告

(1) 地区大会 (県内4地区)

- 周防地区 8月22日(土)
5校上演 周南市市民館
- 山防地区 8月9日(日)
7校上演 山口南総合センター
- 宇部地区 8月22日(土)
5校上演 不二輸送機ホール
- 下関地区 8月12日(水)～13日(木)
7校上演 下関市生涯学習プラザ

地区大会は、例年通り8月に県内4地区で行われました。今年度は昨年より1校減って24校の上演でした。その結果、各地区の最優秀校、計9校が県大会への出場権を得ました。

(2) 演劇講習会

9月22日 宇部中央高等学校

今年度の演劇講習会は、9月22日(火)に宇部中央高校の体育館で行われました。講師は文学座の演出家である、松本祐子先生です。松本先生には、昨年2月に下松市で行われた演劇大学の講師としてもご指導をいただきました。5連休のシルバーウィーク中でしたが、生徒135名、顧問16名、計151名が集まりました。

講習はウォーミングアップの後、10名ぐらいずつのグループに分かれ、予めいただいていた短いテキストを読みました。ある程度練習したところでそれを互いに見せ合い、感想を述べ合いながら、講師から適宜アドバイスをいただくという形で進みました。松本先生からは、多くの示唆に富むアドバイスをいただきましたが、特に、誰に向かって何を伝えたいのかを明確に意識することが大切だとの指摘には、基本の大切さを改めて痛感させられました。

(3) 第37回山口県高等学校総合文化祭演劇部門

10月24日～25日 下関市民会館

9校の上演で行われ、下関西・光丘の2校が昨年に

引き続いて最優秀賞を受賞して、中国大会出場を果たしました。

また、生徒講評部門では、新南陽高校の藤原美華さんと防府西高校の藤原唯衣さんの2名が最優秀賞に選ばれ、中国大会に生徒講評委員として参加することになりました。

(4) 第53回中国地区高等学校演劇発表会

11月21日～22日 アステールプラザ

中国各県代表の計11校が上演し、山口県からは、下関西、光丘の2校が出場しました。残念ながら全国大会出場には届きませんでしたが、両校ともに魅力的な舞台を創り上げ、観客の心をしっかりつかんでいました。

また、県代表生徒講評委員として参加した2名のうち、新南陽高校の藤原美華さんが平成28年度全国高等学校総合文化祭の生徒講評委員に選ばれました。全国大会でも思う存分活躍していただきたいと思います。

(5) 各地区の活動

- ① 2月7日(日)
宇部地区高等学校演劇講習会
(サビエル高等学校)
- ② 2月14日(日)
第21回周防地区高校演劇新人大会
(アクティブやない)
- ③ 3月30日(水)
第23回下関地区演劇連盟合同公演
(下関市生涯学習プラザ)

2 第37回山口県高等学校総合文化祭演劇部門の記録

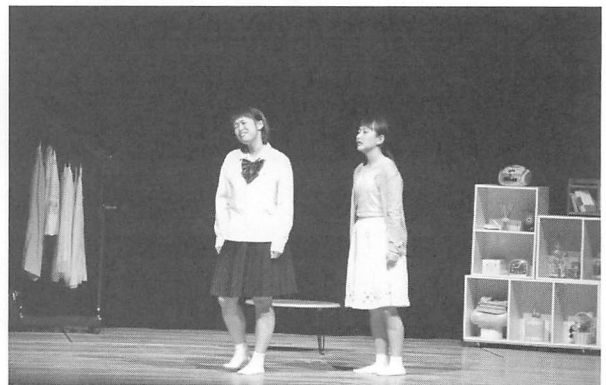
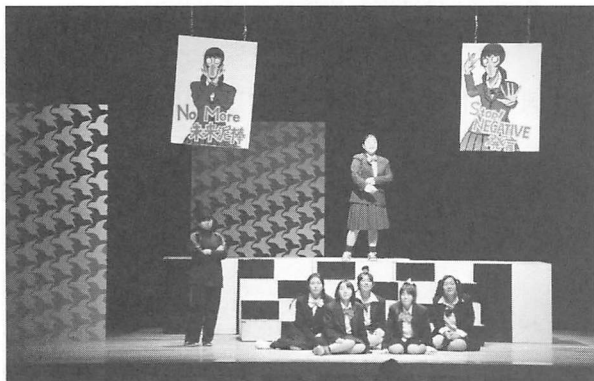
今年の県大会は、10月24日(土)・25日(日)に、さわやかな秋晴れの空の下、下関市民会館で開催され、県内4地区の代表、計9校の上演が行われました。

講師は今年も篠崎光正先生にお願いしました。受けの演技の大切さや、登場人物の気持ちをあえて表に出

さないようにすることで観客に登場人物への感情移入を起こさせることなど、毎年指摘されることですが、実行するのはなかなか難しいことだと改めて感じました。ともすれば演じきった自分に満足しがちだが、見てくれた観客に満足を与えることが真に重要なことであるとの篠崎先生の教えは、我々顧問も肝に銘じなければならぬことだと痛感しました。

生徒講評活動も4年目に入り、すっかり定着してきました。特に今大会は、広島で開かれる全国大会に推薦される可能性があるということで、講評委員たちも例年以上に気合いが入っていたのではないのでしょうか。活発な討議が繰り広げられていました。

県大会では今年も各校が工夫を凝らした作品が上演されましたが、特に「政治」を意識させる作品が印象



に残りました。そこには、「平和」や「言論・表現の自由」などが侵されることに対する危機感が込められていたように思います。選挙権年齢が18歳に引き下げられ、今後は実際に投票に行く生徒が出てきます。安保法制をめぐる若者たちの行動もメディアで大きく取り上げられました。高校生に向けての主権者教育も始まります。そういう中で、高校生も自分を取り巻く政治状況に敏感になってきているのでしょうか。いずれにしても、作品のジャンルの幅が広がることは、高校演劇にとって有意義なことです。今後は、「友情」や「恋愛」に加えて、「政治」を取り上げた作品が増えるかもしれません。

高校生の視点からとらえられた、斬新な作品が数多く生み出されることを期待しています。

第37回山口県高等学校総合文化祭（演劇部門）・第34回山口県高等学校演劇大会上演一覧（上演順）

◎は最優秀校（中国大会出場） ◇は創作 ○は創作脚本賞 ※9校 110名参加

下関南高等学校	◇「オトナリサン」	雨枝 なゆ／作
宇部高等学校	◇けんたい	○田村 将／原案、宇部高校演劇部／作
山口中央高等学校	ソーニャ姐さん	福田 成樹／作、山口中央高校演劇部／潤色
◎光丘高等学校	◇「No More 未来泥棒」	緋岡 篝／作
下関商業高等学校	◇遭難前夜	あずまや太郎／作
岩国総合高等学校	◇オーレシアとジャバ	○望海かあむ／作
西京高等学校	◇『Mother』	岡野 梨奈／作
宇部フロンティア大学付属香川高等学校	ホラーズへようこそ!	瀧澤 豚琴／作
◎下関西高等学校	花柄マリー	越智 優／作

講師・審査員

篠崎 光正（演出家 電劇主宰 SHINOZAKI—STUDIO代表）

和田 善夫（日本演出者協会理事長）

村岡 圭吾（山口県鴻城高等学校演劇部顧問）

各部門の報告

合唱部門

理事長 田 中 睦
(野田学園高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟合唱部門では、今年度、次のような事業を行いました。

1. 部門の活動報告

(1) 平成27年度第37回山口県高等学校総合文化祭開幕式典において慶祝演奏

- ・ 6月11日(木)
- ・ 山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
- ・ 曲目／「フィンランディア賛歌」
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
- ・ 山口県高等学校合唱団／9校 214名
岩国 防府 山口 山口中央 萩
宇部中央 野田学園 萩光塩学院
慶進 各高等学校

- ・ ルネッサながと

(2) 平成27年度第37回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

- ・ 6月12日(金)、13日(土)
- ・ ルネッサながと
- ・ 合唱部門出演者／7校 205名

(3) 第39回全国高等学校総合文化祭

- ・ 7月30日(木)
- ・ びわ湖ホール（滋賀県大津市）
- ・ 山口県代表／山口県立山口高等学校

(4) 山口県高等学校合唱講習会

- ・ 5月31日(日)
- ・ 講 師／大志万明子（声楽家）
- ・ 内 容／総合開会式慶祝演奏に向けての
演奏技術向上のための講習会
- ・ 曲 目／「フィンランディア賛歌」
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
- ・ 場 所／ニューメディアプラザ山口
- ・ 参加者／10校 214名

(5) 平成27年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

- ・ 12月7日(水)
- ・ 野田学園高等学校小会議室
- ・ 出席者／部会長以下6名
- ・ 議題／県総文、全総文、高文連表彰などについて



2. 山口県高等学校総合文化祭の記録

会場：ルネッサながと

平成27年度第37回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月11日(木)「ルネッサながと」にて盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラと共に、9校214名の大合唱は、会場の音響をものともせずに美しく響き渡り、生徒達の緊張の中にも熱い気持ちの入った伸び伸びとした演奏は、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。日頃小人数で部活動をしている生徒が多いため、他校との合同合唱は勿論のこと、オーケストラとの共演はとても貴重な体験になりました。また、翌日からの音楽4部門の発表は、6月12日(金)、13日(土)の2日間、高校生

の熱気あふれる演奏が続きました。合唱部門の出演は、7校205名であり、各校よく工夫されたプログラムで、美しく柔らかい歌声が響き渡り、個性あふれる演奏を披露しました。

例年、合唱部の廃部・休部による参加校の減少が問題でしたが、近年男子部員の増加や新しく参加される高校があり、ようやく200名を超える生徒数になってきています。更に来年度は、40名近い歌う仲間が新たに加わる予定など、明るい話題が聞かれるようになりました。今後も生徒数の減少や指導者不足等の問題はありますが、この総合文化祭を契機に各校の生徒同士が切磋琢磨して、より質の高い音楽を奏でられるよう願っています。来年度の「山口市民会館」でも、素晴らしい演奏を期待しています。



3. 全国高等学校総合文化祭の記録

山口県立山口高等学校合唱部

顧問 三村 由賀

初めて全国総文に参加させていただいたのは、6年前の宮崎大会だった。合唱コンクールの地区大会で初めて金賞をいただいたのもその年で、先輩方の活躍は、私たちの大きな目標となった。

2011年3月11日に東北が大震災に見舞われる。私たちに何ができるか大いに悩んだが、出した結論は、活動の中心を地域のボランティアに置くことと、管弦楽部とともに被災地支援の物販等の交流を始めることだった。

オーケストラとの演奏が主となったこの後、演奏する曲目が大作曲家の作品へと劇的に変化していく。これらの経験は、偶然作曲者の前で演奏する幸運に恵ま

れた滋賀で、御本人から高い評価をいただいたことと無縁ではないと思う。

そして、滋賀大会の経験を胸に出場した全日本合唱コンクール。私たちは、創部65年目にして初めての全国大会出場の栄誉をいただいた。

たくさんのきっかけを与えてくれた全国総文と先輩の皆さんに、今一度感謝したい。



各部門の報告

吹奏楽部門

理事長 志 道 博 資
(宇部高等学校教諭)

1 部門の活動報告

平成27年度の吹奏楽専門部の活動を報告いたします。

(1) 第37回山口県高等学校総合文化祭総合開会式式典 についての慶祝演奏

- *開催日 6月11日(木)
- *会場 長門市 ルネッサながと
- *参加演奏 長北地域高等学校吹奏楽団 71名
- *演奏曲目 蒼氓愛歌～三つの異なる表現で～
作曲：清水大輔
- *指揮 岡本 美和 (大津緑洋高等学校)

(2) 第37回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表 会・第66回山口県高等学校連合音楽会

- *開催日 6月12日(金)、13日(土)
- *会場 長門市 ルネッサながと
- *参加演奏 47団体1,566名

(3) 第39回全国高等学校総合文化祭

- *開催日 7月31日(金)、8月1日(土)
- *会場 滋賀県守山市 守山市民ホール
- *参加演奏 山口県立山口高等学校
(1日目プログラム8番)
- *演奏曲目 バレエ音楽「くるみ割り人形」から
作曲：P.I.チャイコフスキー
編曲：石津谷 治法
- *指揮 中川 聡
(山口高校管弦楽部顧問教諭)

(4) 吹奏楽専門部総会・研修会

- *開催日 12月4日(金)
- *会場 宇部高等学校会議室
- *参加人数 34名
- *講師 橋本 真介 先生
(広島交響楽団クラリネット奏者)



2 山口県高等学校総合文化祭の記録

平成27年度第37回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が6月11日(木)、長門市の「ルネッサながと」で開催されました。開会式典での慶祝演奏には、長北地域にある高等学校の吹奏楽部員から、71名を選抜した合同吹奏楽団が、長北地域高等学校吹奏楽団として本専門部を代表して参加いたしました。本番では大津緑洋高等学校の岡本美和先生の指揮により、清水大輔作曲の「蒼氓愛歌～三つの異なる表現で～」を、ポッ

プ・ロックな曲調も生かしながら、異なる色彩感と共に壮大感も醸し出して演奏いたしました。

また、6月12日(金)と13日(土)には、同会場において音楽4部門発表会を開催いたしました。この2日間で47団体1,566名が、練習の成果を発揮して立派な演奏を披露いたしました。

出演者する生徒たち、鑑賞する生徒たち、そして、会場に集まった全ての人たちが、それぞれの心に大輪の花を咲かせることのできた素晴らしい2日間でした。



3 第39回全国高等学校総合文化祭の記録

山口県立山口高等学校管弦楽部顧問

中川 聡

2011年3月11日、東北地方が東日本大震災に見舞われ、福島県いわき市で開催予定の第35回大会が中止となった。全国総文福島大会への出場準備をしていた私たちは自然の脅威の前に立ちすくむこととなった。

自分たちにも何かできることがないかと考え、被災者の方々が心を込めて作られた手作りの製品の物販促進等、山口高校が東北と交流を始めて既に5年が経過

しようとしている。

そのような経緯もあり、今回の滋賀大会への参加には特別な思いがあった。近年は部名のとおりのオーケストラとしての活動を主としているので、部として33年ぶりとなる吹奏楽部門への出場が全国に散らばる先輩方の話題となったこともたいへん嬉しかった。

折しも一緒に滋賀大会に出場した合唱部とは、一年の大半を一緒に活動している。全国総文への参加を励みに、これからも音楽を愛する仲間とともに切磋琢磨し成長していきたい。



各部門の報告

器楽・管弦楽部門

理事長 秋 本 隆
(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

1 平成27年度第37回山口県高等学校総合文化祭総合開会式における合唱部門との合同による慶祝演奏

期 日：6月11日(木)

会 場：ルネッサながと

演奏曲目：佐藤 真作曲

カンタータ《土の歌》より“大地讃頌”

シベリウス作曲

交響詩《フィンランディア》

村井 邦彦作曲

《翼をください》

指 揮：松屋 まなみ

演 奏：山口県高等学校管弦楽団・合唱団



2 平成27年度第37回山口県高等学校総合文化祭音楽関係4部門発表会

期 日：6月12日(金)、13日(土)

会 場：ルネッサながと

演奏種目：参加各校によるオーケストラ、弦楽合奏、
マンドリン合奏の演奏

参加人数：6校／270名

3 第39回全国高等学校総合文化祭(滋賀びわこ総文)

期 日：7月28日(火)、29日(水)

会 場：滋賀県守山市 守山市民ホール

参 加 校：山口県立柳井高等学校

演奏曲目：ホルスト作曲

《セントポール》組曲より第1楽章

アンダーソン作曲

《プリנק プレンク プランク》

4 平成27年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

期 日：12月7日(月)

場 所：下関南高校会議室

議 題：第35回器楽・管弦楽スプリングコンサート
(岩国大会)、県総文、全国総文、高
文連表彰、役員改選など

5 第35回山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽スプリングコンサート

期 日：平成28年3月28日(月)

会 場：シンフォニア岩国

主 管 校：山口県立岩国高等学校

演奏団体：部門所属6校によるギター・マンドリン・
弦楽合奏・管弦楽の演奏

今年度の全国総合文化祭滋賀大会においても、本県代表の柳井高等学校弦楽部が素晴らしい演奏を披露いたしました。本県の器楽・管弦楽部門のレベルは全国的に見ても、非常に高いものであり、次年度以降もますます発展していくことと期待しています。

6 全国高等学校総合文化祭の記録

山口県立柳井高等学校弦楽部

部長 濱本 佳那

私たち柳井高校弦楽部はこのたび山口県の代表として「滋賀びわこ総文」に参加させていただきました。

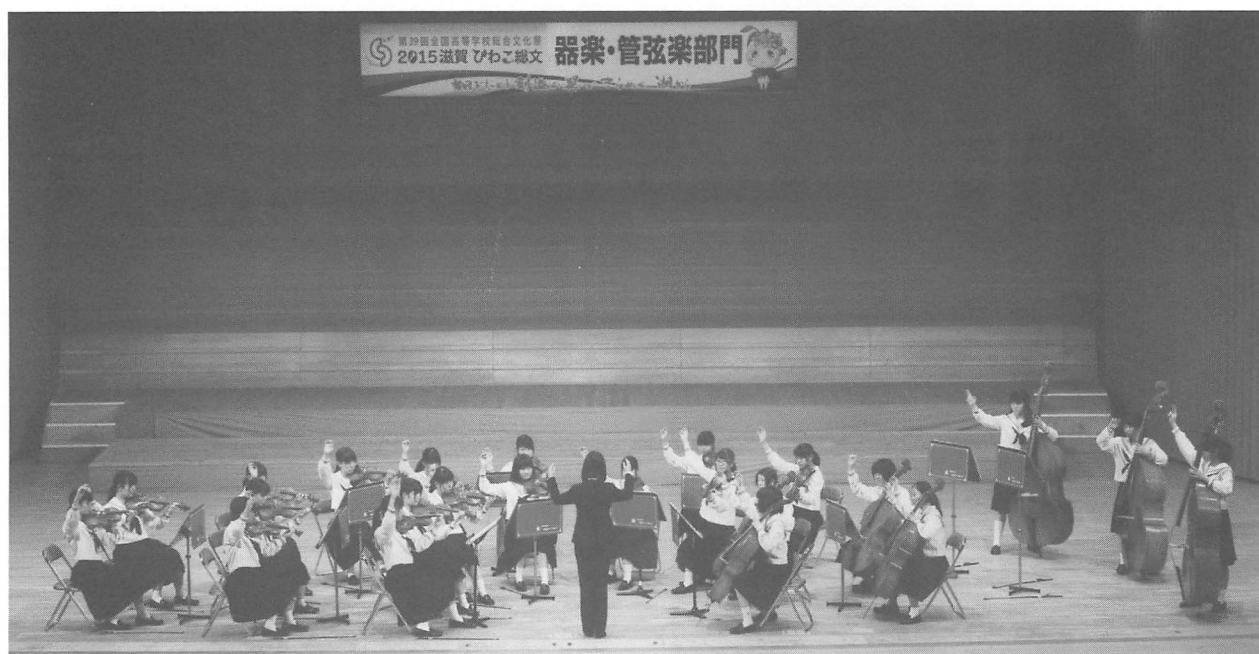
7月28日弦楽部の仲間と楽しい気持ちいっぱい滋賀県に向け出発しました。まず会場の守山市民ホールに行き、他校の演奏を聴くと一気に不安と緊張が高まりました。その後、隣にある立命館守山高校での練習に入りましたが、私たちは肩に力が入り硬い表情になっていました。顧問の梅本先生が1プルと2プル向かい合わせに座るように、指揮や楽譜を見なくていいから同じパートで顔を見ながら練習するように言われました。部員たちの顔には自然に笑顔がこぼれ、私たちの部の雰囲気を取り戻して練習ができたことが思い出になっています。

今回私たちが演奏した曲は、ホルスト作曲「セントポール組曲」とアンダーソン作曲「PLINK PLANK PLUNK」でした。「セントポール組曲」は長い時間をかけて練習してきました。8分と6と8分の9が入れかわり出てくる舞曲で、リズミカルな雰

囲気を出すのに苦労しました。「PLINK PLANK PLUNK」はピッチカート奏法のみで演奏する面白い曲で、楽器を始めたばかりの1年生もみんな楽しく弾くことができました。それぞれの曲への想いを、本番では表現できたと思います。

また、私たちが出演した日には、秋篠宮さまと佳子さまが会場に來られお会いできたこと、演奏前の学校紹介では柳井市の金魚ちょうちんを手に山口弁を披露したことも忘れられません。これからはこの夏の経験を活かし、日々の練習や演奏会を大切に活動していきたいと思っています。

最後になりましたが、全国高等学校総合文化祭へ出場するために支えてくださった方々、そして滋賀県でお世話になった方々、いつも私たちの活動を応援してくださる方々、すべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



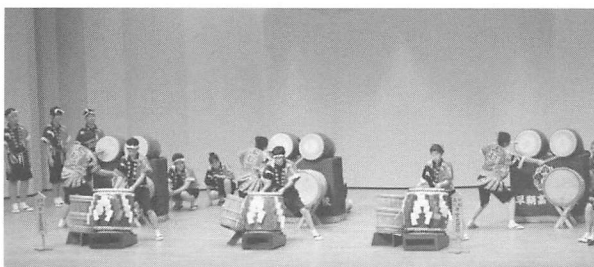
各部門の報告

日本音楽部門

理事長 杉 尾 文 子
(柳井高等学校教諭)

1. 平成27年度日本音楽部門の活動報告

今年度の日本音楽部門の活動は6月11日(木)、総合開会式(ルネッサながと)での大津緑洋高等学校箏曲部の慶祝演奏で幕を開けました。翌週の6月20日(土)には田布施農工高等学校の主管により山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門発表大会(サンビームやない)が開催されました。全国高等学校総合文化祭では日本音楽と郷土芸能は別の部門として存在しますが、山口県の日本音楽部門は箏曲、三味線、和太鼓、郷土芸能と多彩な内容です。優雅さと激しさ、繊細さと大胆さをあわせ持つ日本の伝統文化の奥深さを感じる発表大会で、参加生徒は他ジャンルの演奏に刺激を受ける1日となりました。



第39回全国高等学校総合文化祭「2015滋賀びわこ総文」の日本音楽部門は7月31日(金)～8月1日(土)に滋賀県大津市のびわ湖ホールで行われました。県の代表として田布施農工高等学校邦楽部が八橋検校『八段』を落ち着いた雰囲気で行われ、全体講評の際には古典曲にもっと挑戦してほしいという言葉もあり面目を施しました。次年度の広島大会には宇部鴻城高等学校が郷土芸能部門に参加する予定です。

2. 平成27年度山口県高等学校総合文化祭を終えて

田布施農工高等学校(主管校)

教諭 中村あゆみ

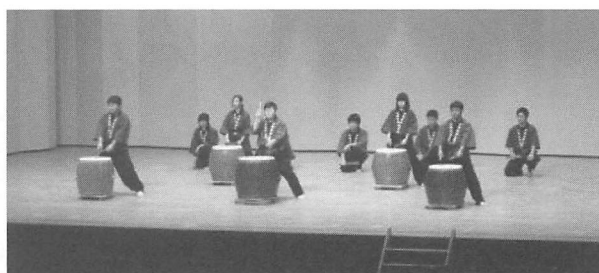
第37回山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門発表大会が、6月20日(土)、真夏を思わせる晴天の中、柳井市のサンビームやないで開催されました。



今年は昨年より1校減の15校の参加になりましたが、参加人数では昨を上回る181人の生徒が日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、発表大会を盛り上げてくれました。山口県の日本音楽部門には箏曲、太鼓、郷土芸能、長唄三味線と多彩なジャンルの部活動が所属しており、バラエティに富んだ演目が、工夫を凝らした演奏形態で披露されました。

今年の合同演奏は一昨年、昨年に引き続き「六段の調べ」に7校、総勢19名が挑み、古典曲ならではの味わいや間を感じながら、気持ちを一つにして演奏しました。参加生徒たちは、他校の発表を鑑賞することで、自分たちの課題点や目標を発見し、今後の活動のあり方を考えるよい契機になったことと思います。

来年度は宇部鴻城高等学校の主管により、宇部市において開催される予定です。各校の素晴らしいステージに期待しています。



3. 第39回全国高等学校総合文化祭（びわこ総文） 日本音楽部門に参加して

田布施農工高等学校邦楽部

部長 3年 金山 智寛

全国高校総合文化祭への出場が決まったときは、自分たちが全国大会にふさわしい技量を身につけることが出来るのか、本当に不安な気持ちでした。でも、山口県の代表として、恥ずかしくない精一杯の演奏をしようと、練習に励んできました。

この1年間、ずっと取り組んできたのは古典の名曲「八段」です。自分たちにとっては難易度が高く、最初のころは、リズムやスピード、押さえる音もバラバラで、とても苦労しました。ですが、練習を重ねるうちに、古典独特のリズムや間を感じながら、本手、替

手の織りなす美しい旋律を奏でることが出来るようになってきました。

滋賀県大津市びわ湖ホールで行われた、全国高等学校総合文化祭日本音楽部門の発表大会は、自分たちが考えていた以上に他校のレベルが高く、衝撃を受けました。こんな大舞台は初めてのことでとても緊張し、リハーサルでは本手と替手の音がバラけてしまいました。その分、このままで終われない！という気持ちになり、本番では全員が心を一つにして満足のいく演奏が出来たと思います。

今回、全国大会出場という貴重な機会を頂き、多くの方々に支援していただいたことに感謝しています。この経験を今後の部活動に活かし、さらに発展させていきたいと思っています。



びわこ総文2015マスコットキャラクター
うみな
湖楠

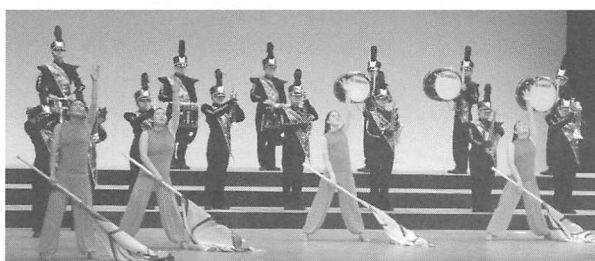
各部門の報告

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 志 道 博 資
(宇部高等学校教諭)

平成27年度マーチングバンド・バトントワリング専門部の活動について報告いたします。

1 第37回山口県高等学校総合文化祭総合開会式典における慶祝演奏



平成27年6月11日(木)に長門市のルネッサながとで開催された、総合開会式での式典慶祝演奏に出演いたしました。部門を代表して山口県鴻城高等学校が、顧問の内田良一先生の指揮のもと、「マンジョーネ・マジック」の曲に合わせて、華麗な演奏と演技を披露いたしました。

2 第37回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

平成27年6月12日(金)・13日(土)に、長門市のルネッサながとで開催された音楽4部門発表会に、宇部市の慶進高等学校と山口市の山口県鴻城高等学校が参加いたしました。

慶進高校は20人のバトントワリングによる、華麗で息の合った演技を披露いたしました。

また、山口県鴻城高校は35人のマーチングバンドにより、力強さとしなやかさを併せ持つ演奏演技を披露し、華やかなステージを作りました。

3 第39回全国高等学校総合文化祭

平成27年7月30日(木)に滋賀県野洲市の野洲市総合体育館で開催されましたが、本県内の他の行事と日程が近いため、本県からの参加は困難でした。



各部門の報告

美術・工芸部門

理事長 濱 崎 洋
(柳井高等学校教諭)

平成27年度美術・工芸部門の活動について報告いたします。

1 山口県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門

11月13日から15日までシンフォニア岩国の企画展示ホールで開催されました。美術・工芸部門には県内32校より113点の出品がありました。内訳は平面107点、立体6点です。レベルの高い大作が多く、平面では約9割の作品が50号やB1の出品規定最大のサイズでした。

審査では24点が優秀賞に選ばれ、その中から6点が来年度の全国高等学校総合文化祭〈広島大会〉の出品候補作品に選ばれました。講評会では審査員5名の先生から優秀作品1点1点について、その良さや制作方法などについて話があり、生徒たちは互いの作品を鑑賞し合うことで美術表現についての視野を広げることができ、今後の表現活動のよい原動力となりました。



優秀賞 (全国高総文祭出品候補作品)

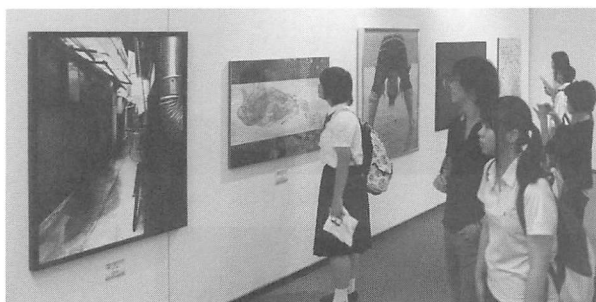
学校名	氏 名	学年	題名	大きさ	種別
岩 国 高 等 学 校	阪口友佳子	2	家	F50 縦	絵画
柳 井 高 等 学 校	大浴 紗那	2	届いてほしい	F50 縦	絵画
光 丘 高 等 学 校	千同 沙希	2	口は災いのもと	F50 縦	絵画
宇部商業高等学校	西浦 友香	2	訴え	F50 縦	絵画
下 関 南 高 等 学 校	横山 りお	2	秘めた闘争心	F50 縦	絵画
下関商業高等学校	大神 麗華	2	しあわせのもと	F50 縦	絵画

優秀賞

学校名	氏 名	学年	題名	大きさ	種別
岩 国 高 等 学 校	浜重 怜奈	2	美術室の仲間たち	S50	絵画
岩国総合高等学校	木戸 悠介	2	最愛なる人へ	F50 横	絵画
岩国総合高等学校	宮田 楓	2	母の車に 父の花	F50 横	絵画
熊毛南高等学校	森永 七海	2	古ぶ街にさすヒカリ	F50 縦	絵画
光 丘 高 等 学 校	岡村 春奈	3	午後4時15分	F50 縦	絵画
光 丘 高 等 学 校	木原 風香	3	flamingo	B1 縦	デザイン
下 松 高 等 学 校	玉亀友里帆・野間奈々美	2	月下美人	75cm×75cm×高150cm	立体・デザイン
防 府 高 等 学 校	山本 奈穂	2	ギャクリュウ	B1 縦	デザイン
豊 浦 高 等 学 校	宮崎 菖子	3	アンモラリズム・エンジェル	F50 縦	絵画
長 府 高 等 学 校	藤井 彩乃	1	古家	B1 縦	絵画
下 関 南 高 等 学 校	先野 優花	2	私だけの明かり	F50 縦	絵画
下関中等教育学校	和田安加里	1	早く大人になりたい	F50 横	絵画
下関中等教育学校	若松明日花	2	匠斗くん	F50 横	絵画
下関商業高等学校	末成 沙羅	2	樹洞	F50 縦	絵画
下関商業高等学校	濱田 真実	2	自由	B1 縦	デザイン
野田学園高等学校	藤川 恵	1	年 月	B2 横	絵画
サビエル高等学校	山本裕美子	2	扉は開かれた	F50 縦	絵画
サビエル高等学校	寶田千紗都	2	キカイ	B1 縦	デザイン

2 全国高等学校総合文化祭〈滋賀大会〉

7月28日(火)～8月1日(土)の5日間、全国の都道府県で選ばれた絵画、彫刻、デザイン、版画、工芸、映像等407点の優秀作品が、滋賀県立近代美術館に展示されました。その中にあって、本県から出品した平面作品6点はそれぞれに作者の思いや気持ちが込められた完成度の高い作品として全国にアピールしていました。全国のレベルの高い作品を鑑賞した本県6名の生徒も、視野が広がり、感性を豊かにし、今後の表現力を高める原動力になったことと思います。



部門開会式、アトラクション、講演・講評会は展示会場（大津市）から離れた野洲市文化ホールの大ホールで行われました。開会式では全国高文連美術・工芸の横須賀義章会長から、「この大会は『高等学校最高峰の美の祭典』であり、作品は制作者の発想や構想、それぞれの思いがしっかりと込められたものばかりである。制作者一人ひとりが苦労しながらアイデアをひねり出し、それを形にすべく新たな技能や技術を習得・工夫しながら作品を生み出していると思うが、交流会ではそのような苦労話やお互いの作品を鑑賞して感じ取ったこと、考えたことなどをしっかり情報交換していただきたい。」という内容のあいさつがありました。

アトラクションでは、滋賀県の美術部員によるライブペインティングが行われ、滋賀県の歴史、自然、文化をテーマにした絵が舞台一面に10分程度で描きあげられました。ペインティング中には滋賀県に関するクイズや、マスコットキャラクターの「うみなちゃん」と生徒たちの踊りでおおいに盛り上っていました。

講演会・講評会では漫画家の森田まさのりさんをお迎えして、「夢にときめけ、明日にきらめけ」という演題で、森田さんの高校時代の恩師で現在滋賀県立野洲高等学校教諭として美術を教えておられる金山雅幸先生との対談形式で進められました。森田まさのりさんは高校時代美術部に所属しておられ、卒業後大学に進学せずに漫画家になろうと思ったいきさつや、高校時代の思い出をスライ

ドで紹介しながら話されました。講評会では森田さんが気になった作品を20点程度あげて、森田さんの視点で観た作品についての感想や思いについて話をされました。



以下、参加した生徒のみなさんより感想をいただいています。

山口県立熊毛南高等学校 2年 森永 七海

題名「ダリア」

全国の高校生の作品を見ることができ、とても良い経験になった。どの作品からも作者の努力や込めた思いなどが伝わってきて感動した。交流会では、一つの作品に対して自分とは違う考え方や見方がたくさんあり、勉強になった。さまざまな作品や意見から、自分が制作する際の新たな視点を得ることができたので、これからは活かしていきたい。

山口県立山口中央高等学校 3年 山田 紗矢佳

題名「学徒」

今回滋賀全総文に参加させていただき、得るものが多くありました。私とは違った配色や構図、表現の仕方、物の捉え方を直接見て感じる事ができ、こういう風にもできるんだと刺激を受けました。新しい視点を持つことができる機会をいただけて、とても嬉しいです。

山口県立豊浦高等学校 3年 宮崎 菖子

題名「kitsch」

この大会で自分の作品を多くの人に鑑賞してもらえたことが良い経験になりました。私が一人で描いてきたものが、他の人に見られることで初めて完成するのだと痛切に感じました。また、全国の作品のレベルの高さを感じ、参加できたことを嬉しく思いました。この経験を生かして、これからも制作を続けていきたいです。

山口県立下関中等教育学校 3年 阿部 泉水

題名「進化」

この大会への参加が、私にとって大きな刺激となり、

将来につながる出来事となりました。全国から集まった同世代の人たちと対話しながら一つの作品を鑑賞することで、お互いの見識を高めました。自分の作品について話し合った時に、自分が思ってもみなかった発想がたくさん出て、作品に対する自分の世界が広がりました。そのことを今後の制作活動に活かしていきたいと思います。

山口県立下関南高等学校 3年 西野 里咲

題名「Hello!」

高等学校総合文化祭滋賀大会に参加して色々な技法を学び、人それぞれのタッチや色合いを見て、今後絵を描くための参考にすることができました。どの作品も存在感があり、目を引くようなものばかりで、私の絵との大きな差を感じて悔しかったです。この経験を生かして次の絵に取り組みたいと思います。

下関商業高等学校 3年 開道 稚晴

題名「静けさ・響き」

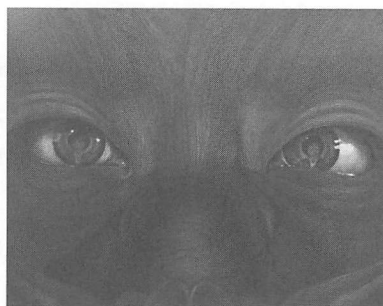
全国から約400点もの作品が展示されており、迫力で溢れかえっていた。そして全国のレベルに圧倒された。努力の積み重ねからこれらの作品の数々が感動を生み出しているのだと痛感した。一人ひとり違うが、少しずつでも努力をすれば力になり自分のモノになっていく。その努力をどの場面でも活用していきたい。



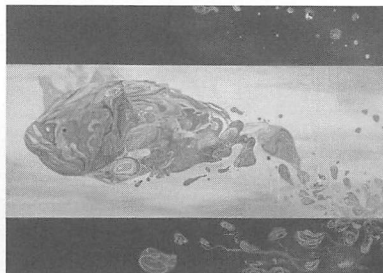
「ダリア」F50



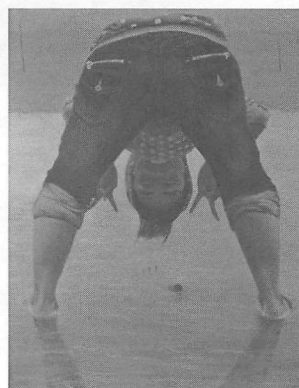
「学徒」B1



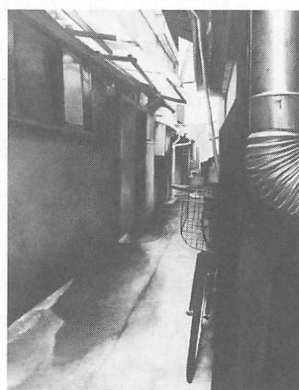
「kitsch」F50



「進化」B1



「hello!」F50



「静けさ・響き」F50

3 美術・工芸専門部連絡協議会および研修会

10月9日に柳井高等学校で行いました。協議会では今後の美術・工芸の大会運営や、県総文祭美術・工芸の審査方法について意見交換がなされました。研修会では、全国大会の作品を一点一点スライドで、多様なレベルの高い作品を観ることで今後の指導の参考にしました。また、下関中等教育学校の美術部の活動について研究発表がありました。

各部門の報告

書道部門

理事長 河合 和子
(下関中等教育学校教諭)

1 第37回山口県高等学校総合文化祭

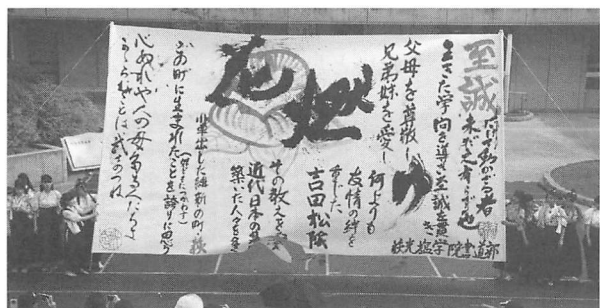
9月19日(土)・20日(日)
山口市民会館小ホール



今年は県内19校より例年を上回る79点が出品され、厳正な審査により、来年の全総文広島大会への出品候補作品4点を含む優秀賞12点が選ばれました。一心に古典に取り組まれた臨書作品が多く、高校生らしい生き生きとした表情のうかがえるものばかりでした。生徒研修会での共同作品も屏風に表装されて展示され、会場を彩りました。

2日目14時から開催された書道パフォーマンスの発表には、山口高校・下関西高校・萩光塩学院高校の3校が、それぞれに趣向を凝らしたパフォーマンスを披露しました。

その後の講評会では、審査員を中心に講評をいただきました。緊張の中にも和やかに進められ、参加生徒は明日の部活動への意欲を感じてくれたものと思います。



《優秀賞～第40回全国高等学校総合文化祭2016ひろしま総文出品候補作品》

下関西高等学校	2年	安重	春奈
下関南高等学校	2年	水野	希耶
下関中等教育学校	1年	河村	正
下関商業高等学校	2年	前寺	美穂

《優秀賞》

岩国高等学校	2年	浜重	怜奈
山口高等学校	2年	岡嶋	夏未
宇部西高等学校	2年	吉田	真美
下関西高等学校	2年	高木	美空
下関南高等学校	2年	塩田	真子
下関中等教育学校	2年	水川裕紀子	
長門高等学校	2年	高尾	真由
高水高等学校	3年	長沼	優花

2 第17回高文連書道部会生徒研修会

8月13日(木)、14日(金)
山口県セミナーパーク



今年度の生徒研修会は、お盆の時期の開催となり、参加者は減少しましたが内容の濃い充実した2日間を過ごすことができました。

1日目午前中は1字大書創作、午後は秋の句を参加者全員で分担し、行書と隸書で表現した共同作品を制作して、夕食後に鑑賞会と講評会をしました。その後の時間も自由練習時間とし、県総文の作品を熱心に書いている生徒もいました。

2日目は、個人作品の練習で多くは県総文に向けて臨書作品を書き上げました。運動部と違い、貴重な他校の生徒と触れ合う2日間で、たくさんの刺激を受け、仲間として打ち解け、信頼しあえる充実の研修会だったと思います。来年からこうした研修の機会を設けたいと思っています。

3 第39回全国高等学校総合文化祭（滋賀大会）

7月28日(火)～8月1日(出)

県立体育館・県立武道館（大津市）



本年度の全国高等学校総合文化祭は、滋賀県にて、「2015滋賀 びわこ総文」の名称で、テーマを「翔びたとう創造の翼で きらめく湖から」として開催されました。

書道部門には、全国から選抜された313点の作品が出品されました。交流会は、グループで1字大書創作を制作し、翌日の講評会では、いくつかの作品が取り上げられ、解説・講評をされました。全国から集まった同じ高校生の作品と人物に触れ、視野を広げる素晴らしい大会だったと思います。山口県からは、県内の総合文化祭で選出された上記4校が、県代表として出品しました。以下に参加者の感想を付します。

びわこ総文に参加して

臨「張猛龍碑」

下関商業高等学校 3年 川杉 七瀬

私は滋賀県で開催された「全国高等学校総合文化祭」に参加しました。会場には全国から出品された三百点以上の作品が展示されており、全国の凄さに圧倒され、書道の奥深さに魅了されました。また、交流会では大きな筆を使って筆伝大会を行い普段できないような体験ができ、他県の友達と仲良くなることができて良かったです。講評会では、私の作品がスクリーンに映し出され、作品を褒めていただいたのは本当に嬉しかったです。充実した時間を過ごすことができ、人生で忘れることのない思い出となりました。

全国大会に出場することができたのは熱心にご指導して下さった田中先生をはじめ、支えてくれた部員や家族、友達のおかげです。これからもより一層書道と向き合っていき、この経験を活かしていけたらいいなと思います。本当にありがとうございました。

臨「魏靈藏造像記」

山口高等学校 3年 大谷 菜々

まず、私がこの大会に出場できたのは、書道部とともに練習し頑張ってきた友人や支えてくれた家族など、応援してくれた多くの方々のおかげだと心から感謝しています。本当にありがとうございました。

全総文祭への参加を通して、私は書道がますます好きになりました。全国から出品された作品は、どれもすばらしく、会場に入った瞬間その迫力に圧倒されました。同時に、自分もこんな風に、見ている人を感動させるような作品を書いてみたいという気持ちをかき立てられました。このような体験は、この先の人生においてもかけがえのないものになると思います。大会を通して知った書道の奥深さ、そこから学んだ技術や表現力を生かして、これからもずっと大好きな書道を続けていきたいと思っています。

臨「張猛龍碑」

下関西高等学校 2年 高木 美空

私は、滋賀県で開催された書道の全国高校総合文化祭に出場させて頂きました。他県の参加者がほとんど三年生だったこともあり、初めは緊張しましたが、作品を見たり交流会で他県の高校生と話をしたりする中で多くのことを学ぶことができました。全国から集まった作品は迫力があり、また同じ書体でも、書道という芸術は書く人によって表現の仕方や構成が異なり、様々な味を出すものと改めて実感しました。総文での経験や感得したことは、私にとってかけがえのないものになりました。

今まで指導して下さいました先生方、一緒に頑張ってきた書道部、そしてこのような機会を頂いたことに心から感謝しています。今回の経験を生かし、これからも書道を続けていきたいと思っています。



各部門の報告

写真部門

理事長 尾崎 勝利
(新南陽高等学校教諭)

平成27年度の山口県高文連写真部門の活動状況について報告いたします。

1. 平成27年度第39回全国高等学校総合文化祭（滋賀大会）写真部門

全国高校総文写真部門は全国展・企画展が7月28～8月1日の期間に、大津市の大津市民会館・公民館、ピアザ淡海で行われました。各都道府県の代表作品による全国展は、優れた作品が数多くあり、写真の取り組みに対する意識の高さが感じられました。

なお、全国展における山口県からの出品作品の入賞は残念ながらございませんでした。次回以降に期待したいと思います。



2. 第37回山口県高等学校総合文化祭展示部門

11月6(金)～8日(日)周南市ふれあいセンターにて県総文展示部門の作品展示が行われました。写真部門は平成22年度からデジタル作品も選考の対象として以来初めて、すべての作品がデジタル作品となりました。今年度は昨年(147点)より少ない124点の作品の応募にとどまりました。写真部の数や部員の減少により、各校の年ごとによる部員数の増減により出品数が左右さ

れる現状です。部員数や出品数は他県と比較してかなり少ない状況であり、今後の部員数の増加や活動の活性化に課題を残しています。

昨年に引き続き、審査員としてプロカメラマンである(社)日本写真家協会会員のタカオカ邦彦氏を迎え、プロのによる評価・講評を続けています。審査の結果13点が優秀賞に選ばれ、そのうち5点が来年の全国高校総文広島大会への出品候補作品となりました。最終日の講評会ではタカオカ氏からのていねいな講評があり、参加された生徒・顧問の皆さんも学ぶことが多かったのではないかと思います。

準備・運営に携わってくださった役員の先生方、また補助員の生徒の皆さんに感謝いたします。



3. 写真研修会・提出作品の講評会

展示部門の会期最終日に周南市ふれあいセンターに於いて、タカオカ邦彦氏による写真研修会があり、昨年と同様50名あまりの参加がありました。参加生徒は「読んだ本」を題材とした作品を提出し、一人一人の作品をスクリーンに投影し、作品に対する本人の説明の後、参加生徒からの質問や意見交換、その後に講師からの講評・アドバイスを受けるという対話重視の研修を体験しました。考えた上で撮影に取り組んだ結果の作品は山口県の高校生カメラマンのレベルアップを期待させるものでした。

また、2月には生徒・顧問から提出された作品に対して、タカオカ氏による作品講評がなされる、という形での研修会を行います。今後と同様な形で研修会を開催し、写真部員の技術向上に役立てたいと考えています。



5. その他の活動

8月4(木)～7日(金)に北海道東川町で行われた、第22回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2015」に下松高等学校が中国ブロック代表(32校中1校)として、本戦(全国514校中18校)に出場しました(本戦では優秀賞を受賞)。県勢としては2014年の新南陽高等学校に続き2年連続の本戦出場となります。本戦出場校を決める中国ブロック決勝5校に、下松高等学校の他に新南陽高校が進出し、5校中2校を山口県の高校が占め、山口県の写真レベルの向上を感じさせました。

第37回 山口県高等学校総合文化祭 写真部門受賞者一覧

(主催：山口県高等学校文化連盟 山口県 山口県教育委員会 後援：周南市教育委員会)

平成27年11月6～8日
新南陽ふれあいセンター

優 秀 賞 (全国高等学校総合文化祭出品候補作品)

学 校 名	氏 名	学 年	題 名
下 松 高 等 学 校	西 村 花 穂	1	恋人
	中 村 彩 乃	1	翔る
下 松 工 業 高 等 学 校	徳 浪 利 紀	1	早朝の静けさ
新 南 陽 高 等 学 校	浅 本 奈 々	2	ひらめいた！
	原 村 涼 加	2	道の駅の画伯

優 秀 賞

学 校 名	氏 名	学 年	題 名
光 丘 高 等 学 校	草 野 咲	1	水彩画
下 松 高 等 学 校	石 川 史 華	1	いきまーす！
	高 木 遥 香	2	ホームグラウンド
	須 濱 悠 月	1	気配
南 陽 工 業 高 等 学 校	樽 岡 秀 介	3	待機中・・・
	杉 山 萌 花	2	アーク
	進 藤 皓 平	1	晩夏
宇 部 工 業 高 等 学 校	福 井 良 輔	3	力む

各部門の報告

放送部門

理事長 徳 永 志 保
(光高等学校教諭)

1 第39回全国高等学校総合文化祭（2015滋賀びわこ総文）

7月31日、8月1日、栗東芸術文化会館さきらで行われました。今年度は、残念ながら入賞なしに終わりましたが、出場者が全国各地の放送部員と交流する姿が見られました。放送人として必要なコミュニケーション力を磨く絶好のチャンスとなる大会でした。来年はお隣の広島県で行われます。学ぶことが多くみつかれる大会ですので、勉強のために多くの放送部員が訪れることを期待します。



出場者・出場校は以下のとおりです。

朗読部門

光高校	田部ひかる 『機関車先生』伊集院静
徳山高校	末田 真唯 『べっぴんさん』重松清
徳山高校	河村 真奈 『まゆみのマーチ』重松清

アナウンス部門

徳山高校	小方 祐輝「元祖下松ラーメン」
山口高校	田中 泰平「維新キャラバン隊」
光高校	山下 詩織「おもちゃの病院」

オーディオピクチャー部門

光高校	「刀身に己を映して」
-----	------------

ビデオメッセージ部門

岩国高校	「守り神蛇！」
熊毛南高校	「100歳のスイマーからのメッセージ」



滋賀びわこ総文を振り返って

山口県立光高等学校 3年 山下 詩織

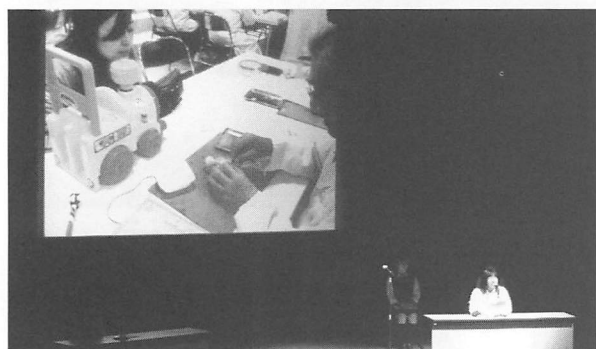
私は、アナウンス部門の山口県代表として出場しました。アナウンス部門は、全国の高校生が興味を持つような郷土の話題を1分30秒以内にまとめてアナウンスをするというものです。私は、「おもちゃの病院」というテーマの原稿を作りました。

山口県内のショッピングモール等で、子どもたちが持ち寄った壊れたおもちゃを治す、「周南おもちゃ病院」というボランティア団体を取り上げました。年配の方々が、子どもたちの笑顔のために、白衣を着て「治療」するのです。

私は、初めて新聞でこの団体を知った時に、「この活動を多くの人に知ってもらいたい」と思いました。取材を重ねていくうちに、治療をする「先生」方の優しさや心の温かさを強く感じました。また、大会では、デジタル画像を併用することができたので、子どもたちの笑顔や先生方の優しさを写真で感じ、この話題に興味を持ってもらえるようにしました。

総文祭の1週間前にNHK杯の全国大会もあり、練習期間があまり取れなかったので、滋賀へは、少し不安の残る出発となってしまいました。しかし、会場の空気に触れると、全国レベルの大会に出場させていただける喜びと、大会への期待で気持ちが高まり、不安も次第に消えていきました。また、総文祭というだけあって、大会というよりも、「祭り」というイメージが強く、他県の放送部員とも交流を持つことができ、とても貴重な体験ができたと思います。

本番は、3年間の集大成として、自分の納得いくアナウンスができました。また、その時に感じたのが、仲間がいることの心強さです。ライバルではあるけれど、「チーム山口」として団結して戦えたと思います。総文祭は、私たち3年生にとっては、最後の大会です。最後の大会を笑顔で終えることができたのも、一緒に3年間戦ってきた仲間や、私のことをずっと支えてくださった顧問の先生のおかげです。本当に感謝しています。滋賀びわこ総文に出場して、多くのことを学ぶことができ、貴重な時間を過ごすことができました。



2 第37回山口県高等学校総合文化祭第22回放送部大会

11月7日、山口市のニューメディアプラザで行いました。参加人数は、朗読部門32人（昨年比-4）、アナウンス部門31人（-2）、オーディオピクチャー部門3校3作品（+1）、ビデオメッセージ部門5校6作品（+1）となりました。

今年度から審査員に放送部顧問が加わり、アナウンサー・ディレクター・放送インストラクターという専門家とともに審査をしました。また、今年度から中国大会が開催されることとなったので、入賞の数を増やし、多くの学校の放送部員が上位大会で発表をする機会を得ることができました。

閉会後に、審査員の皆さんが、出場者個人個人に指導していただき、貴重な学びの場となりました。

朗読部門

最優秀賞	下松高校	岡本 桃佳
	『小さいベッド』	村中 李衣
優秀賞	山口高校	田中 泰平
	『とんび』	重松 清
	徳山高校	井上加奈子
	『エビスくん』	重松清
入賞	徳山高校	松本 萌花
	『ドロップスは神様の涙』	重松 清
	徳山高校	道源 真結
	『ステップ』	重松 清

高水高校	濱田 卯望
『機関車先生』	伊集院 静
光丘高校	中村 葵
『駅までの道を教えて』	伊集院静
下松高校	米田 千尋
『赤ヘル1975』	重松 清
下松高校	原田 榛人
『花燃ゆ』	五十嵐佳子
光高校	伊藤 緋時
『希望の地図』	重松 清

アナウンス部門

最優秀賞	光高校	村谷 紀明
優秀賞	下松高校	杉山 朝香
	光高校	六反 咲
入賞	熊毛南高校	門脇 彩華
	熊毛南高校	吉田 翼
	徳山高校	古城 花梨
	下松高校	藤里 樹
	光丘高校	藤井 彩音
	光高校	三原江理子
	岩国高校	水中 莉紗

オーディオピクチャー部門

最優秀賞	光高校	「海からの伝言」
入賞	徳山高校	「ソレーネtiti！」
	岩国高校	「つけものスタープロジェクト」

ビデオメッセージ部門

最優秀賞	岩国高校	「暖の灯る山」
優秀賞	熊毛南高校	「なぎさのキズナ」
入賞	山口高校	「外郎はいらっしゃりませぬか」
	光高校	「男はつらいの？」
		「絵の中のふるさと」

3 アナウンス・朗読研修会

第1回は6月13日にNHK杯と総文の2つの全国大会のための指導、第2回は8月8日に全国大会報告と良いアナウンスのポイントと相互指導法。第3回は11月14日に中国大会のための指導と相互審査を徳山高校で行いました。

これらの研修の成果は着実に出ていていると思います。今年度のNHK杯では、アナウンス部門で3名、番組部門で2校が準決勝に進みました。よって、これからも研修を充実させ、よいご報告ができるように励みたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

各部門の報告

囲碁部門

理事長 河 口 明 史
(徳山商工高等学校教諭)

<平成27年度の主な活動報告>

1 囲碁研修大会

期日：7月11日(土)

場所：徳山商工高等学校

指導：日本棋院プロ棋士 山本賢太郎五段



(研修大会・プロ対局風景)

2 第39回全国高等学校総合文化祭囲碁部門

期日：7月30日(木)・31日(金)

場所：滋賀県長浜市「長浜ロイヤルホテル」

第39回全国高等学校総合文化祭囲碁部門は、7月30日(木)・31日(金)に滋賀県長浜市で開催されました。長浜ロイヤルホテルを会場に、2日間6局の対戦で、互いの棋力を競い合いました。

大会は、団体戦(男女混成で3名の各県代表チーム)と男女個人戦(各1名の各県代表)で行われます。山口県チームは、前年10月の県総文祭の上位入賞者が代表となって出場しました。対戦は、団体戦・個人戦ともに、勝者同士敗者同士を対戦させてゆき、2日間で6局の各対戦相手の勝敗も加味して順位を決めるスイス方式で行われます。参加した代表生徒はそれぞれに頑張り、また全国の高校生との交流を楽しんだようです。近年実力はかなり上がっており、成績も期待どおりのすばらしい結果となりました。また、今回の大会には出場していませんが1・2年生も実力者が多く、全国大会でも活躍できる棋力の生徒も多く、次年度に

繋がるよい結果ともいえる年度でした。

出場者と成績：

〈団体戦〉	田中 裕天(徳 山)	
	矢田 裕誠(徳 山)	
	岡村菜々子(山 口)	4勝2敗6位
〈個人戦〉		
男子	西村僚太郎(防 府)	5勝1敗2位
女子	吉田 朋世(防府商工)	1勝5敗44位



(全国総文・対局風景)

3 第37回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門

期日：10月25日(日)

場所：徳山商工高等学校

第37回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門第27回大会は、10月25日(日)に徳山商工高校で開催しました。

参加校は7校で、27名の生徒が参加しました。この大会は、全国大会代表と中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦とに分かれて行います。代表決定戦には男子14名、女子5名、段級位認定戦には8名の生徒が参加しました。

段級位認定戦には3年生の参加も認めており、高校最後の大会で目指す段級位を得ようと例年何人かの3年生が参加しています。生徒にとっては自分の段級位を認定してもらうことが大きな励みになっています。代表決定戦も段級位認定戦も、スイス方式で4回戦の対局で行います。大会結果（下記のとおり）

代表決定戦の上位男子3名と女子2名は、来年度広島県尾道市で開催される全国高等学校総合文化祭に出場することになります。全国大会では、男女混成3名で山口県チームを組む団体戦と男女各1名の個人戦に出場します。

大会結果：

〈団体戦〉

男子 優勝 山口県立徳山高等学校
女子 優勝 山口県立山口高等学校

〈個人戦〉

男子 優勝 西村僚太郎（防 府）
2位 田中 裕天（徳 山）
3位 尾本 裕樹（徳 山）
女子 優勝 岡村菜々子（山 口）
2位 上野亜梨寿（山 口）



（県総文・対局風景）

4 第19回中国高等学校囲碁選手権大会

期日：12月19日(土)・20日(日)

場所：広島県尾道市

「尾道市公会堂別館 大会議室」

12月19日～20日に広島県尾道市で開催された第19回中国高等学校囲碁選手権大会には、男子団体戦に徳山高校、女子団体戦に山口高校、男子個人戦には団体戦出場者を除く県内予選の男子上位6位までの選手、女子個人戦には2名が出場しました。昨年度実施された中国大会では団体戦においては男女とも第1位、個人戦男子も第1位でした。男子団体戦においては昨年度に続き徳山高校が出場し、総勝ち数では優勝した益田高校を上回りましたが、結果的に第2位、女子団体も山口高校が第2位という残念な結果でした。

出場者と成績：

〈団体戦〉

男子 徳山高等学校 3勝1敗2位
女子 山口高等学校 3勝1敗2位

〈個人戦〉

男子 田中 裕天（徳 山）5勝0敗1位
（第10回全国高校囲碁選抜大会出場）
西村僚太郎（防 府）4勝1敗3位
（第10回全国高校囲碁選抜大会出場）
池田 篤弥（宇 部）4勝1敗4位
（第10回全国高校囲碁選抜大会出場）
三上 晃良（宇 部）3勝2敗9位
中村 拓哉（徳山商工）3勝2敗10位
須山 魁理（防府商工）1勝4敗26位
女子 和田 渚（山 口）2勝3敗7位
土田 果穂（山 口）2勝3敗13位

各部門の報告

将棋部門

理事長 弘 中 敏 之
(徳山高等学校教諭)

将棋は古代のインドに起源を有し、世界中の諸地域で愛好されている室内ゲームです。特に日本の将棋は、取った駒を自分の駒として利用できる「持ち駒」ルールの発明によって他に類を見ないほど繊細で奥深いものとなりました。また、作法や礼儀を重んじる日本の伝統的な文化を継承しています。現在、少子高齢化が進む中、県内大会や研修会への生徒の参加状況はほぼ横ばいで踏みとどまっており、中には、全国大会等で好成績を挙げる者も出ています。今後とも、将棋専門部の活動にご支援のほどよろしくお願いいたします。

1 第37回山口県高校総合文化祭将棋部門

平成27年5月23日(土)・24日(日)

防府市文化福祉会館

男子団体 参加7校12チーム

第1位 徳山高校

第2位 防府高校A

第3位 下関西高校A

宇部工業高校A

女子団体 参加2校4チーム

第1位 徳山高校A

第2位 下松高校A

金子 真也

大中 哲哉

山下 勝己

増田 真大

宮崎 真洋

宮川 友宏

白石 昂大

横道 大雅

中村 知堯

磯部 航

小倉 寛敬

藤田 昂太

澄川 弘

福岡 理央

原田 大地

関岡 奈々

河村 莉奈

細瀬 摩利

高村 麻衣

寺本 弥生

片山 紀香

男子個人 参加11校38名

第1位 宮崎 真洋 (防府3)

第2位 藤井 雄二 (聖光2)

第3位 磯部 航 (下関西3)

白石 昂大 (防府3)

女子個人 参加2校9名

第1位 高村 麻衣 (徳山3)

第2位 寺本 弥生 (下松2)

第3位 片山 紀香 (下松2)

敢闘賞 米田 翔二 (宇部高専2)

町野 尊俊 (宇部高専2)

2 第39回全国高校総合文化祭将棋部門

平成27年7月28日(火)・29日(水)

滋賀県立文化産業交流会館



男子団体 徳山高校

大中 哲哉

山下 勝己

増田 真大

予選リーグ0勝4敗

関岡 奈々

河村 莉奈

細瀬 摩利

予選リーグ3勝1敗

4位で通過

決勝トーナメント

5位入賞

女子団体 徳山高校

男子個人 宮崎 真洋(防府3)予選リーグ2勝2敗
 藤井 雄二(聖光2)予選リーグ2勝2敗
 女子個人 高村 麻衣(下松3)予選リーグ2勝2敗
 寺本 弥生(下松2)予選リーグ3勝1敗
 決勝トーナメント進出 20位



3 山口県高文連将棋専門部研修会 (第20回山口県高等学校将棋新人大会)

平成27年11月1日(日)
 防府市文化福祉会館

男子個人 参加11校43名
 第1位 大中 哲哉 (徳山2)
 第2位 中村 知亮 (下関西2)
 第3位 藤井 雄二 (聖光2)
 今村 繁希 (下松1)
 第5位 宮崎 雅也 (高川1)
 山下 勝己 (徳山2)

女子個人 参加2校9名
 第1位 松山 結芽 (徳山2)
 第2位 古城 未麻 (徳山2)
 第3位 細瀬 摩利 (徳山2)

研修会 (親睦戦) 参加10名

研修会 (指導対局、大盤解説) 参加52名

指導 日本将棋連盟山口支部 北村 公一 氏
 田中 佳久 氏



4 第14回中国地区高校将棋選手権大会

平成27年12月19日(土)・20日(日)
 広島市・ホテル法華クラブ広島

男子個人 参加32名

大中 哲哉 (徳山2) 4勝1敗

第2位入賞

藤井 雄二 (聖光2) 3勝2敗

中村 知亮 (下関西2) 3勝2敗

今村 繁希 (下松1) 2勝3敗

山下 勝己 (徳山2) 2勝3敗

宮崎 雅也 (高川1) 2勝3敗

女子個人 参加17名

古城 未麻 (徳山2) 3勝2敗

松山 結芽 (徳山2) 3勝2敗

細瀬 摩利 (徳山2) 3勝2敗



5 第23回全国高文連将棋新人大会【前年度】

平成27年1月29日(木)～31日(土)
 新潟県新潟市 ホテルオークラ新潟

男子個人

中堀 卓也 (宇部鴻城2) 予選リーグ2勝2敗

宮崎 真洋 (防府2) 予選リーグ1勝3敗

女子個人

関岡 奈々 (徳山2) 予選リーグ3勝2敗

河村 莉奈 (徳山2) 予選リーグ3勝2敗

高村 麻衣 (下松2) 予選リーグ2勝3敗

寺本 弥生 (下松1) 予選リーグ2勝3敗

各部門の報告

小倉百人一首かるた部門

理事長 青 池 のぞみ
(小野田高等学校教諭)

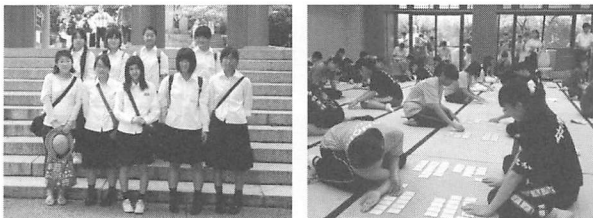
1 部門の活動報告

小倉百人一首かるた部門は、発足して3年の、まだ歴史の浅い部門です。様々な方々から御助言をいただき、少しずつですが組織として前進しています。

平成27年度には、山口県立小野田高等学校でかるた同好会が設立されました。日頃の活動が認められ、平成28年度からは、県内初の「小倉百人一首かるた部」として活動をスタートします。小野田高校が、かるた競技の高校生選手たちを支える拠点校として機能していくこととなります。

かるた競技は、「畳の上の格闘技」といわれています。静寂と美しい日本語の調べのなかで自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断力、長時間の対戦に絶え得る精神力が求められる厳しい競技です。また美しい振る舞いや相手を敬う人間性も必要です。山口県では、かるた協会と協力しながら選手育成をおこなっています。錬成会や合宿も実施し、各種大会でも好成績を収めています。かるたに向き合って集中し、日々厳しい稽古に取り組んでいる生徒の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来の名人・クイーンが育つことを期待してやみません。

2 第37回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会の報告



滋賀県大津市の近江神宮で毎年開催される、かるたの甲子園と呼ばれる名誉ある大会です。今年は7月19日(日)団体戦・20日(月)に個人戦が開催されました。かるたクイーンを目指す高校生が主人公の漫画『ちはやふる』の実写映画のロケも実施され、華やかな大会となりました。

団体戦 山口県立小野田高等学校 2回戦進出

3 第39回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門の報告

7月29日(水)～31日(金)の3日間、滋賀県守山市の守山市民体育館において開催されました。山口県は5校合同8名での出場となりました。

団体戦 山口県合同チーム 予選リーグ3位

山口県立小野田高等学校 3年 楳野 百佳
2年 師井 美冬
2年 三國 美奈
1年 長谷川千紗

山口県立下関西高等学校 3年 森脇 史織
宇部フロンティア大学付属香川高等学校

3年 小川 京子

山口県立宇部高等学校 1年 梶原 大暉
慶進高等学校 1年 時吉 彩人



4 第18回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会の報告

10月30日(金)～11月1日(日)に、平成28年度の広島での全国総文のプレ大会として、広島県呉市で盛大に開催されました。

団体戦 山口県合同チーム 第4位

山口県立小野田高等学校 予選3位

個人戦 初級の部

優勝 山口県立小野田高等学校

1年 長井 千春

準優勝 慶進高等学校 1年 時吉 彩人



各部門の報告

文芸部門

理事長 桑 原 範 恵
(徳山高等学校教諭)

今年度の文芸部門の活動状況を報告します。

1 県総文祭総合開会式慶祝展示

全国総文祭いばらき大会のパネル写真を展示しました。また、全国総文祭びわこ大会の参加作品および県内各高校の文芸誌を展示しました。

2 「俳句甲子園」地方大会研修会

5月30日(土) 於 光丘高校
俳句甲子園地方大会に備えて研修会を行いました。

3 第18回「俳句甲子園」地方大会(山口大会)

6月13日(土)防府市地域交流センター

【第1会場】

優勝 山口県立徳山高等学校A

最優秀句 「母の日のアイロン台の高さかな」

山口県立徳山高等学校A

3年 野名 美咲

【第2会場】

優勝 山口県立熊毛南高等学校A

最優秀句 「土をけりはねるわたしはわかば色」

山口県立西京高等学校B

2年 長嶺 日向

4 俳句甲子園(全国大会)

8月22日(土)松山市大街道(A～Lブロック)

23日(日)松山市総合コミュニティセンター

○山口県立熊毛南高等学校

0勝1敗 予選リーグ敗退

入選句 「青空は繋がってをり茄子が居り」

山口県立熊毛南高等学校 小松 秀美

○山口県立徳山高等学校

1勝1敗 予選リーグ敗退

入選句 「顎までの本を抱えて蟬時雨」

山口県立徳山高等学校 大中沙弥香

5 全国高等学校総合文化祭

7月29日(水)30日(木)31日(金)

○散文部門 防府高校 児玉 穂香

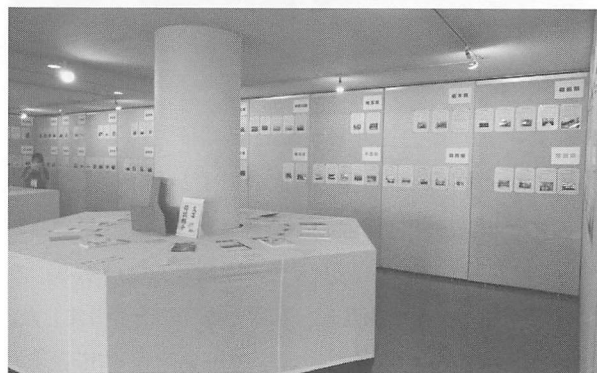
○詩部門 西京高校 柳 光一

○短歌部門 徳山高校 高野 光裕

○俳句部門 徳山高校 野名 美咲

○文芸部誌部門 徳山高校 石村 まい

以上5名出場



6 第13回山口県高等学校文芸コンクール

作品募集 7/13～8/3

選考決定 10/14(水)

今年度の県コンクールは16校123名155作品の応募があり、今年度の中国大会、来年度の全国総合文化祭の出場者が決定しました。

受賞者一覧

部 門	学校名	題 名	学年	氏 名	成 績	備 考
散文部門	防 府 高 校	ラ イ フ	2	児玉 穂香	最 優 秀	全国総文
	小 野 田 高 校	畏 怖 の 世 界	1	榎本由里香	優 秀	中国大会
詩 部 門	徳 山 高 校	春	3	富永 真央	最 優 秀	
	華 陵 高 校	視 界	2	手島 里沙	優 秀	全国総文
	徳 山 高 校	晴 天	3	野名 紅里	優 秀	
	小 野 田 高 校	手 の ひ ら	2	牧 南花	優 秀	中国大会
短歌部門	徳 山 高 校	雑 踏 に	3	萩原 光	最 優 秀	
	防 府 西 高 校	夕 立 ち や	2	福田 光咲	優 秀	全国総文
	徳 山 高 校	寂 し さ の	2	石村 まい	優 良	中国大会
俳句部門	徳 山 高 校	遠 足 の	3	富永 真央	最 優 秀	
	山 口 中 央 高 校	胡 瓜 も み	2	坂野 綾音	優 秀	全国総文
	徳 山 高 校	春 雪 や	3	野名 美咲	優 秀	
	山 口 高 校	秋 の 暮 れ	2	杉 のどか	優 秀	中国大会

7 第16回高校生文芸道場中国ブロック大会派遣および参加

11月6日(金) 島根県出雲市 ビッグハート出雲
小野田高校2名、山口高校1名、徳山高校2名
以上5名参加

第16回高校生文芸道場中国ブロック大会文芸コンクール結果

○文芸部誌部門

最優秀 「耿光77号」 徳山高校

佳 作 「妙」 萩高校

○散文部門

佳 作 「旅立ち」

防府高校 2年 児玉 穂香

佳 作 「同級生のメモワール」

下松高校 3年 谷口 恵理

○詩部門

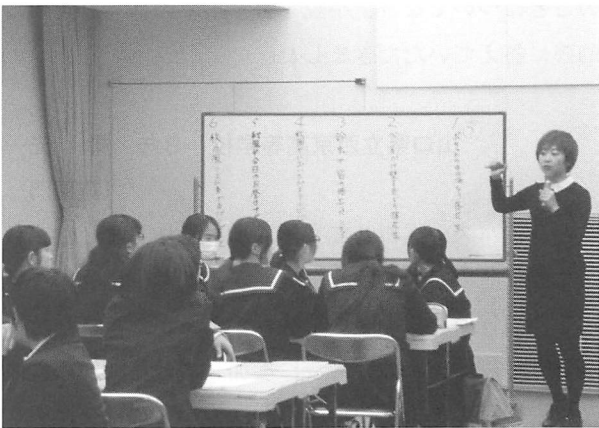
佳 作 「夕焼け」

徳山高校 2年 石村 まい

○俳句部門

最優秀 「山へ山へ」

徳山高校 2年 石村 まい



8 第30回全国高等学校文芸コンクール結果

○文芸評論部門

入 選 「単語で読む『悲しき玩具』」

徳山高校 3年 野名 紅里

○詩部門

入 選 「手のひら」

小野田高校 2年 牧 南花

○俳句部門

入 選 「吸う止める」

徳山高校 3年 野名 美咲

入 選 「ぎっしりと」

徳山高校 3年 富永 真央

全国高等学校総合文化祭びわこ総文 文芸部門参加報告 (部門別交流会抜粋)



山口県立防府高等学校 2年 児玉 穂香 (散文部門)

私の参加した散文部門では、まず自己紹介から始まりました。自己紹介の後、即興で創作活動に取り組みました。その場で書いた作品をその場で読み、読まれるというのは新鮮なもので、とても良い体験になりました。その後は、作家の中沢けい先生による講演会が行われました。登場人物の性格、題名、プロットのことについてなど、小説を書く上での様々な質問に、的確に答えていただきました。

山口県立西京高等学校 3年 柳 光一 (詩部門)

29日、バスに揺られて文学散歩に参加しました。私たち詩部門の参加者は彦根城、安土城考古博物館を見学し、滋賀の文化や歴史に触れることができました。30日、午後は、詩の分科会に参加しました。初めに他県の生徒たちと相互に自作の詩について意見交換をし、

次に講師の先生から講評をいただきました。講評の中に自分の詩があったときは感激しました。最後は、班でリレー詩を作って発表しました。

山口県立徳山高等学校 3年 高野 光裕 (短歌部門)

短歌部門では班対抗の歌合せが催され、各自で用意してきた夏の歌に対して班で鑑賞を行った。様々な人の短歌を聞くことで、面白い表現、素敵な視点、そして自分の好きな歌に出会うことができた。また、そこに対する異なる意見を知ることでもでき、大変嬉しく思った。やはり感性というもの、日頃から短歌を詠んでそういう思考に慣れることが必要になってくると感じた。

山口県立徳山高等学校 3年 野名 美咲 (俳句部門)

俳句部門では、7月29日の文学散歩で滋賀の名所を歩きながら吟行を行い、7月30日の分科会で、吟行で詠んだ一句と事前に用意していた三句を使った句会などを楽しんだ。ホトトギス同人会代表の安原葉先生に講評や添削、俳句についてのお話をしていただいた。先生は高浜虚子の「選は創作なり」という言葉を引用し、選の大切さについて話された。これからもこの経験を忘れずに、創作活動に取り組みたい。

山口県立徳山高等学校 2年 石村 まい (部誌部門)

びわこ総文の文芸部門のうち、私は文芸部誌部門に参加しました。文学散歩や分科会などのとても充実した企画が組まれていて、楽しみながら他県との交流を深められました。分科会では、とても濃密な時間を過ごすことができました。班ごとにわかれ、お互いの部誌を見せ合ったり、部誌を良くするために何に気を付けるべきか、新入部員の育て方についてなど、たくさんのお話をしました。



各部門の報告

自然科学部門

理事長 大田 和子
(宇部高等学校教諭)

山口県は今年度の全国高等学校総合文化祭・滋賀大会で、3年連続の参加となった高川学園のオオサンショウウオの生態についての発表と、初参加の宇部高校のザリガニ筋肉に関する発表を行った。滋賀県は数回訪れたことがあるところであるが、豊かな水をたたえた、広大な琵琶湖の風景は本当に美しく、琵琶湖を満喫した巡検も参加した生徒からとても好評であった。以下に、参加した生徒からの感想を掲載します。

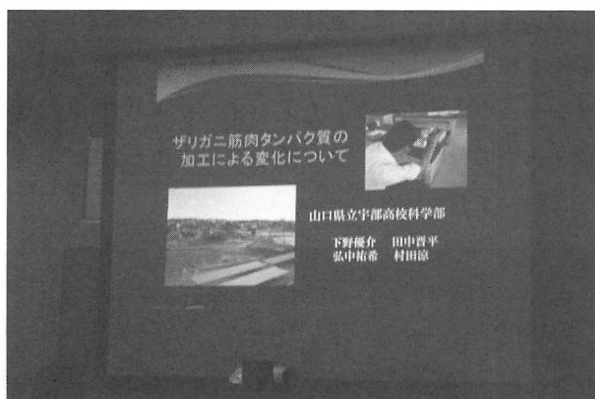
生物部門

「ザリガニ筋肉タンパク質の加工による変化について」

山口県立宇部高等学校 科学部

(指導者：鶴谷 保)

2年 下野 優介 田中 晋平

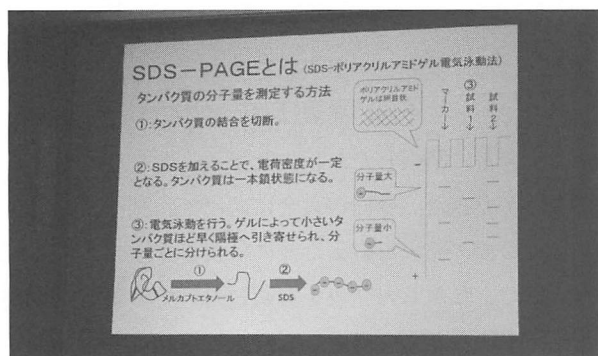


私たちは、7月30日から8月1日まで滋賀県東近江市で開催された全国高等学校総合文化祭自然科学部門滋賀大会に「ザリガニ筋肉タンパク質の加工による変化について」の研究で、初めて参加することができた。大会1日目、2日目の研究発表会ではすべての分野の発表を見学したが、どの分野とも違いがあり興味深かった。発表にはそれぞれ工夫が見られ、私たちの研究にも役立つものが多かった。生物分野では特にそれぞれの地域の特色ある生物を扱った研究が多く、今後の参考にしたいものばかりであった。また、生物分野以外を見学しても、私たちの研究とは全く違う視点の研究が多く見られた。今回は生物分野以外でどのような研究があ

るのかを知り、完成度の高い研究を見学することもでき、今後、さらに研究のレベルアップを図る必要性を感じた。

2日目の私たちの研究の発表では、普段のポスター発表とは違う雰囲気や緊張感を味わうことができた。私たちにとって今回の発表は初めての口頭発表だったため、非常に緊張したが、失敗することなく、発表することができた。今回の大会に向けて、懸命に練習してきたので、発表を終えた後には大きな達成感があった。また、私たちの発表を真剣に聞いて質問をしてくれた方や、私たちの研究を応援してくれた方などがいてくれたことにも感動した。審査員の意見は聞けなかったが、他の方から質問を多くいただくことができた。発表を聞いての感想に、私たちが研究しているザリガニの利用について、駆除しているザリガニを何かに利用できたらと思っていたという感想があった。私たちの研究が、どこかで何かに役に立つかもしれないと実感でき、また研究に対する意識が変わり有意義な発表会だった。そのほかにも、今後の研究に向けていくつかアドバイスや質問をいただき、改善点やこの先の指針が見えた。最終日、私たちは大型船megumiで湖上実習を行い、琵琶湖に生息するプランクトンの観察、琵琶湖の水質調査などの実習を行った。私は琵琶湖が広いということは知っていたけれども、実際に見るまではここまで広いとは思っていなかった。プランクトンの観察では、琵琶湖の固有種のビワクンショウモを観察することができ、琵琶湖の豊かさを実感することができた。琵琶湖の船上では、バンドン式採水器を使って湖底付近の水を採取した。湖表面の水と深層の水を比較すると、深層の水はとても冷たく、澄んでいた。大学の先生のお話では、深層の水は飲めるらしいので、機会があれば飲んでみたいと思う。琵琶湖の水深は深く、湖底付近には水面とは全く違う世界が広がっていること実感をすることができた。また、この研修では琵琶湖が大昔の地殻変動によってでき、毎年少しずつ移動していることや、世界でも最古の湖の一つであることなどを知り、その歴史の古さに感動した。

最終日の生徒交流会では他県、他分野の生徒との交流をしながら琵琶湖の「葦」についてのクイズを解き、葦笛を作るなど貴重な体験ができた。今回の大会に参加して様々な県の高校生たちと、研究発表や交流会を通じて出会い、交流することができた。このような機会は普段、あまりないことなので、私たちには大きな刺激となった。今回は賞には届かなかったが、この体験を忘れず、研究をさらに進めて、良い成績を残せるように頑張っていきたい。



ポスター発表

「山口県のおオサンショウウオの生態（3）」

高川学園高等学校 科学部

(指導者：村田 満)

2年 冷泉きらら

☆ポスターセッションの感想

最初はとても緊張しました。今まで練習してきた事を発揮できるか、相手にちゃんと伝わるかどうか心配でした。発表が始まりポスターを見て言葉を発していると次第に落ち着き緊張もとけてきました。また、聞いていただく相手の方を見ながら発表することもできました。

4分という短い時間の中で、今まで積み重ねてきた研究を伝える事は難しく重点的に言いたい事がまとまらず焦りを感じていました。しかし、練習を重ねるごとに大事なことを伝えられるようになり、チームワークの大切さを実感しました。私にとって、仲間とのもとても素晴らしい思い出になりました。

☆さようなら琵琶湖

3日間の大会の中で色々な事を学びました。他校の発表だけでなく、琵琶湖博物館の学芸員さんから琵琶湖の事を学びました。山口県からは遠い滋賀県ですが、また来たいと思える充実した琵琶湖の思い出でした。

2年 埴本 萌

☆ポスターセッションの感想

他校の研究発表のレベルの高さに圧倒され、不安で

したが、多くの方々からアドバイスをもらい、少しずつ緊張がとけていきました。限られた時間で研究成果を伝えることの難しさも感じながら、質疑応答では私の知らないこともチームのみんなの助けで乗り越えることができました。

他校の発表を聞き、目的が明確で関心を抱き、初めて知ることもあり興味をひかれました。また、私たちの足りないところに気付かされることも多々ありました。

生徒交流会では館内の全員でヨシ笛をつくりました。種名のヨシとアシの違いは、「良し」と「悪し」を意味することを初めて知りました。

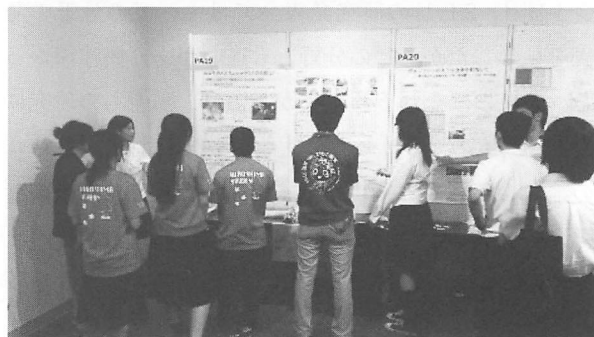
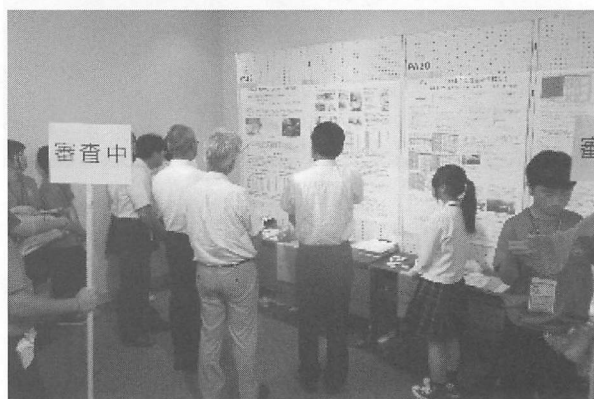
今回の総合文化祭に参加して、反省することや学んだこともたくさんありとても良い経験になりました。これを生かし、頑張っていきたいと思います。

☆琵琶湖博物館

館内の案内は、滋賀絵文の生徒の皆さんが、すべてのところで絵などを用いてわかりやすく解説をしてくれました。昨年からの練習を重ねてきたと聞き、感動しました。

博物館には昔の生活の様子が再現しており、体験もでき、自然環境の移り変わりも分かりました。

水族展示では、琵琶湖のビワコオオナマズなど多くの固有種が生息しており、私たちが研究しているオオサンショウウオも居ましたがハイブリッドでした。遺伝子汚染の脅威がここまで迫っていることに驚き、残念に思いました。



全国高等学校総合文化祭に参加して

山口県立岩国高等学校

宮 本 皓 平

私が、全国高等学校総合文化祭に参加するお話をいただいたのは、第2回考査のテスト週間が始まる直前の頃でした。

内容は、県の代表として、夏に滋賀県で行われる総合文化祭の総合開会式に参加するということでした。始めは、そんな大役が自分に務まるのかという不安しか感じる事ができなかったのですが、即答ができず、少し考える時間をいただいていたしまいました。その日の夜、床に就きながら、総合開会式に参加している自分の姿（といっても、かなり漠然としたものですが…）を想像してみました。そうすると不思議なもので、不安に勝った大きな好奇心が湧き上がってきて、翌日にはさっそく参加の意思を伝えていました。

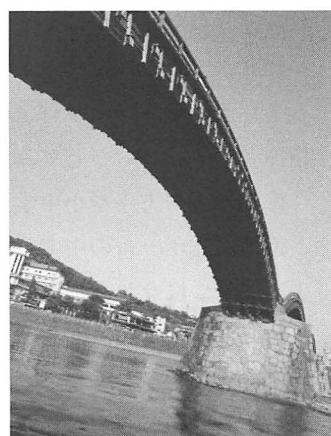
私にとって未知の場所である滋賀県は、日本一大きい琵琶湖のある県という程度の認識でしかありませんでした。しかし、滋賀県についていろいろ調べていくうちに、古い歴史を持つとても魅力的な県だと思ふようになりました。そして、7月の終わり、総合開会式の前日に滋賀県へと向かいました。大津駅の一駅先、石山駅で降車し、引率の先生と宿泊所付近を散策しました。琵琶湖縁沿いを歩きながらその大きさに圧倒されていたのですが、私が見た場所は琵琶湖の最南端の狭いところで、北湖と呼ばれている場所は海のように広いと後で知りました。その夜は緊張してなかなか寝付けないうらうなと思ていましたが、旅の疲れのせいかぐっすり眠ることができ、すぐに当日の朝を迎えることとなりました。会場のびわ湖ホールに着くと、びわこ総文を支える数多くの滋賀県の高校生たちが、明るい笑顔と元気な声で迎えてくれました。そうした彼らの意気込みに、山口県の代表といいながらも、少し観光気分浸っていた自分が上手くやっていたのだらうかと、不安が過ってきました。会場には、47都道府県からそれぞれの代表生徒が来ていました。話しかけてみると、私と同じく緊張してて、ちょっとだけ安心しました。リハーサルも終わり、いよいよ本番が始まりました。不安な気持ちもまだまだ残っていましたが、「ここまで来たのだから」と気持ちを引き締め、ステージに出る順番を待ちました。来年度の開

催である広島県の次に「山口県」のアナウンスがありました。広い会場を埋め尽くすたくさんの関係者のみなさんや高校生、その聴衆の前に立つと、不安よりもこの場に立てる喜び、自分もびわこ総文を作り上げている一員なのだという喜びがひしひしと湧き起こり、もう不安などは一切なく、一種の快感さえも覚えました。大役を終え、あらためて会場内を見ていくと、この総合文化祭が本当にたくさんの人に支えられて成り立っていることを感じました。全国の高校生や海外からの学生の協力も得て、ひとつの大きな輪をつくっている。その一体感は、二度と忘れられないものとなりました。

私にとって全国高総文祭へ参加した成果は、他者と協力してひとつのことを作り上げていく喜びを再確認してきたことです。そしてそのことがこれからの自分を支えてくれる貴重な体験となってくれると思います。この素晴らしい機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。



総合プログラムに掲載された「水に関わる名所・名物」では「錦帯橋」を紹介しました。『本州の西端、山口県は三方を海に囲まれています。私の住む岩国市も海に面していますが、「水」といえば清流錦川であり市民の心の支柱である錦帯橋ですね。五つのアーチが錦川に架かるその姿は、優雅で気品があります。』



自主事業・補助事業の報告

《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

田布施農工高等学校

○ 今日聴いた曲はどれも知っている曲ばかりで楽しかったです。最後のディズニーメドレーも盛り上がってよかったと思いました。指揮者に挑戦するコーナーでは指揮者が変わるだけで曲の雰囲気は全く違っていたのでびっくりしたし、面白いなと思いました。指揮者の大切さがよく分かった気がしました。

あまり、オーケストラを聴く機会が無かったので、楽器について知らなかったことがたくさんありました。それに、楽器単体の音を聞くことがあまりなかったので、今日聴くことが出来てよかったです。こんな音をしているんだという楽器もたくさんあり

ました。思っていたより、時間がたつのが早かったです。司会者の人の言っていた、音楽は魔法だという言葉はとても印象に残りました。確かにそうだなと思いました。



《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

防府高等学校佐波分校

○ 私は、山口県交響楽団の演奏会があると聞いて、その日をとても心待ちにしていました。中学生の時にも一度演奏を聞いたことがあり、それが私の人生の中で初めてのオーケストラで、その時の強い印象を今でも覚えていたからです。その後数年経った今回の演奏会は、中学生の時とは比べられないほど感動しました。聞いたことのある曲も初めて聞く曲もすべて体の中心に電流が走ったかのような衝撃を受けました。私の好きな威風堂々など、迫力のある演奏を間近で聞くことができて、とても嬉しかったです。

当日は私の姉も鑑賞していました。指揮者に挑戦できるなんてすごいことだよ！と、かなり興奮していました。私は大勢の人の前で指揮をするのは恥ずかしいので、初めから指揮者に挑戦する気はありませんでしたが、確かにそういわれると、とてもすごい経験ができるんだなあと感じかされました。もしもまたチャンスがあれば、恥ずかしさを打ち消して指揮者にチャレンジしてみたいと思います。

徳地地域の方々や小中学生、そして楽団の皆さんと徳地文化ホールの中で会場全体が音楽という絆によって一つになれたことが本当に胸に響きました。これほど心地よい時間を味わったのは中学生の時の演奏会以来でした。ぜひまた徳地にお越しください。本当にありがとうございました。

○ 私は、今日の演奏を聴いて、どれも素晴らしい演奏だと思いました。特に印象に残った曲は闘牛士です。演奏を聴いていて、本当にスペインのマタドールの風景が浮び上ってきたので、音楽は人の心を動かすことができる上に、その曲の風景を想像することが出来る素晴らしいものなんだと改めて思いました。

私は、吹奏楽部に入っているので吹奏楽とは少し違ったオーケストラも楽しく聴くことが出来ました。私は一年生からサクソフォンを吹いているせいか、サクソフォンに愛着がわいています。オーケストラには、普段は用いられていない楽器だけど、いつかサクソフォンが用いられたオーケストラを生で聴いてみたいと思いました。

そして私も、山口県交響楽団のみなさんのように楽器を上手くふけるように、日々努力していこうと思いました。



《自主事業》【リコーダーとともに】

熊毛南高等学校

- とてもたくさんの種類の笛があり、リュートとの音色もきれいだった。笛といわれた時、リコーダーくらいしか思い浮かばないが、たくさんの種類があり、その1つ1つが個々の音をもっていて、おもしろかった。途中で笛の名前も曲名も分からないが、笛1本で迫力のある演奏をされていてすごかった。リュートも音が柔らかく感じられ、主張していない感じに心地よさを感じた。特に、最後の「千と千尋の神隠し」のエンディングを聴いて、心が和んだ。リコーダーなどの笛とリュートがとても合っ

いて良かった。今回の演奏を聴いて、リコーダーやリュートなどに興味を持てたのが良かった。



《自主事業》【となりの国の打楽器と踊り】

山口高等学校徳佐分校

- この公演を通じて韓国の音楽や文化、衣装などさまざまなことを学ぶことができて充実した一日となりました。日本と韓国はとなりの国なのに、国が違えば文化も音楽も違うことを身をもって体験することができました。チャンゴを使ったチャンゴの踊りやサンモの踊りなどの韓国の音楽を聞いて、リズムの良さや迫力などがよく伝わってきました。日本の音楽にはないリズムや間などを感じました。

私自身、異国の文化に触れたことがあまりありませんでした。今回の公演で韓国の文化に触れるという貴重な体験ができてとても良かったです。また新

しい音楽に触れられて、音楽は素晴らしいものだと改めて思いました。国は違っても音楽で伝えられることは同じだと思います。今回、韓国の文化に触れることができたのでとても良かったです。



《自主事業》【巡回演劇公演】宇部芸術座

小野田高等学校定時制

- 今回、初めて演劇を見させていただきましたが、本当に目が離せず、見入ってしまうくらい素晴らしいと思いました。誰かの人生など、役を演じる女優さんに私はとても憧れます。そして、私も誰か別の人を演じてみたい、と思ったりするのですが、今回の公演をとおして、あそこまで素晴らしい演技になるまでに、身を削るような血と涙を流すほどの努力をしなければならないのだと痛感しました。一度見ただけで、その並々ならぬ努力、練習の過程が垣間見えたような気がしました。出演者の方が涙されているのを見て、より一層、どれだけの努力をされたか、身に感じました。だけど、やっぱり、別の人生を演じることは楽しいだろうな、と思います。違う自分の一面を見つけれ、豊かな心を持てるの

ではないかと思うのです。出演されていた「ゆき」という登場人物が、一番心に残りました。少女のような可愛らしい声、動作、目の見えない人を演じていること、「ゆき」という人が本当に存在しているのか、と思うくらい、迫真の演技だと思いました。



《自主事業》【巡回演劇公演】劇団のんた

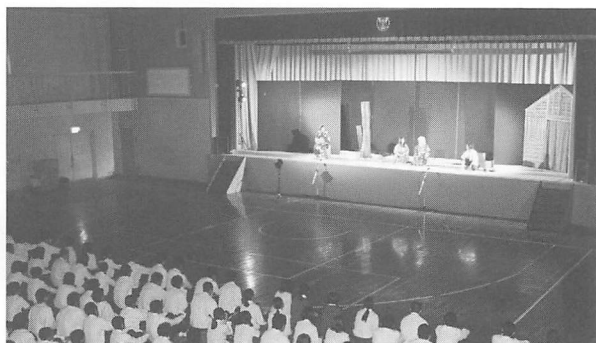
柳井商工高等学校

- 今回、劇団のんたの「かがみ草子」という公演を見ることができて、とても良い経験になりました。

私は、今まで演劇を生で見たことがなかったけれど、今回演劇を見てみて、演劇のすばらしさが分かりました。公演前にあらすじを読んでみて、はやく見てみたい、どんな話なんだろうという興味がわき、演劇をより一層楽しむことができました。私はもともと演劇に対して少し固いイメージがあったけど、劇団のんたの演劇を見てみると、全く逆でおもしろいことばかりだったので、たくさん笑いました。

今回の話は「かがみ」というものが1つのキーワードのような感じだったけれど、1つのものであんなにもおもしろい話ができるんだ、あんなに話を発展させていくことができるんだと思いました。そ

して、その話を演劇という形にすることで動きを目で見て楽しむことができることを知り、物語を演劇にすることで、より一層おもしろく楽しめるものになるのではないと思いました。今回の公演で、演劇に対するイメージも変わり、また見てみたいという気持ちになりました。



《自主事業》【巡回演劇公演】劇団海峡座

西市高等学校

- 私が今回この公演を見て感じたことはいくつかあって、その中の1つに自分達が今平和に暮らしているこの豊田の地でも確かに戦争があったということ。そして、尊い命がたくさん犠牲になったということ。それは今の時代となってはありえないことがたくさんあったということ。私達はこの悲劇を受け継ぎ、そして伝えていかなければならないと思いました。私達は何もすることはできないけどそれなりにできることが絶対あると思っています。戦争というものを実際に見たことがないから想像するということができないけど話を聞く限りでは私達の想像を超えるものだと思います。死にたくもないのに国の

為に命を捧げた人や空襲のため亡くなっていった方の気持ちを考えるほどに苦しくて悲しい気持ちになります。私達が通うこの西市高校でもたくさんの歴史があることを知ることができました。

今回の公演は私達にとってとても良い体験だと私は思いました。



《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

豊浦総合支援学校

- ジャズコンサートを楽しむことができました。ジャズは初めてでした。小学部の男の子がドラムをたたいたのがおもしろくて、自分もやってみたいと思いました。大きな音がたくさんひびいていて、音のハーモニーが広がる音楽でした。音の楽しさが分かりました。楽しさと、はげしさがあつう的におもしろくて、コントラバスやサックスは、魅力あふれる音楽だったと思いました。

みんな楽しそうで、ワクワク感のある生演奏でした。



《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

宇部西高等学校

- 最初はすごく緊張しました。演奏している時もリハーサルの時も緊張しました。ですが、カルテットの方々がしっかりサポートして下さり、とても安心しました。

吹奏楽がカルテットの方々と一緒に演奏する曲（ウィーアー！sing sing sing）の前に演奏して下さった5曲（Fun!、My favorite song、リズムの紹介など）を聴いて、すごく鳥肌が立ちました。アルトサックスの音色もきれいで、ピアノやドラムが軽やかで、その上にコントラバスのカッコいい音色が合わさって、とてもきれいな音色で目が輝きました。ドラムの目の前でとても緊張しました。大胆なドラム演奏を真ん前で聴けてとても嬉しかったです。プロの方々と演奏するのは初めてで、しかもステー

ジの上で、とても緊張して、少し間違えたりしました。でも、アレンジしたのを一緒に吹くことができ、とても幸せでした。吹奏楽部に入って、今日みたいなすてきな日が過ごせて嬉しかったです。



《補助事業》【藤田卓也テノールコンサート】

山口高等学校

- ひとつひとつの音を丁寧に奏でるオーケストラと、繊細かつ力強い声が私を魅了しました。楽器が出す音に色付けをするような声。言葉は理解できませんでしたが、曲目紹介と藤田さんの声を照らし合わせ、曲を楽しみました。

私が一番心に残った曲は「冷たき手を」で、悲しい曲調のなかで二人が恋に落ちる瞬間はとても印象に残りました。どの曲も、登場人物の心情を切に表現しており、私自身がその人物になったような気持ちになりました。苦しくつらい生活の中で人間のあたたかさや愛の強さを感じることができました。

普段は聴くことのないオペラを聴くことができ、

自分の世界を広げることができました。音楽は人を成長させ、心を豊かにすることを実感しました。

本当にありがとうございました。



《補助事業》【藤田卓也テノールコンサート】

周防大島高等学校

- 今日は、間近でテノールを聴くということ、様々な楽曲に触れること、ピアノの音を聴くことができて良かったです。このように世界でも著名な藤田卓也さんの生の声をかなり近い距離で聴くことができ、本当に良い経験になりました。

藤田さんの声はホール全体に響きわたり、私たちの心を揺さぶりました。力強い声で感情を表現しており、ビブラートがすごいなと思いました。

「音楽という世界の中ではプロもアマもない」、そういう藤田さんの発言に「ああそうだな」と思い

ました。私は吹奏楽をしています。合奏や個人練習をしているときに、ただ単純に「楽しいな」と思っています。「楽しいな」という感情を、プロの演奏者の方々も思っているのだなと感じています。これからも藤田さんの言葉と演奏を忘れずに、吹奏楽も勉強も頑張りたいです。



山口県高等学校文化連盟自主事業等実施校一覧 (No.1)

数字は実施年度(62～63は昭和、1～27は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

番号		自 主 事 業					補助事業
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室			
				劇団のんた	宇部芸術座	劇団海峡座	
1	周防大島 安下庄校舎	63,7,25	4,10	10,21			26,27
	久賀校舎	63	3				
2	岩国	1					
	坂上分校	63,11	5,26	3			
	広瀬分校	63,14,21	17	20,26			
3	岩国総合	1	11				
4	高森		2				
5	岩国商業	3		62,15			
	定時制東分校						
6	岩国工業		2	6,8			
7	柳井		7	11			19
8	柳井商工		11,14	1,4,11,14,27			
9	熊毛南	63,19(分),27	6,17	12,24			20,26
10	田布施農工	15(分),18(分)	3,18,20,27	5,24	16		22
11	光	63,20(定)	8,23	17			21
12	光丘		8,11		14		
13	下松	63,7,12	15				
14	華陵	63	8	1			
15	下松工業		1				
16	熊毛北		2,14	63,7			
17	徳山	4(定),8(定),10(定)	15		12		
	徳山北分校	63,21	4,11	8			20
	鹿野分校	3,10	9	1,16			
18	新南陽	63	22	25	5	14	19
19	徳山商工	63,1,5		3,4	7		
20	南陽工業	1	62				
21	防府						23
	佐波分校	63,7	27				
22	防府西	1	10				
23	防府商工	63(定),1	12			6	
24	山口	62(定),15(定),16(定)	2				27
	徳佐分校	63(分),25,27	63,10,20	13			
25	山口中央	63,10,12,13					22
26	西京	62	4		7		
27	山口農業		5,21		3	24	
28	宇部	63					
29	宇部中央	1(定),14(定)	10,19		63,26		23
30	宇部西		14		10,23		26,27
31	宇部商業	63	62,6		3		
32	宇部工業	2,13	8				
33	小野田	63(定),19(定)			22,27(定)	25	
34	厚狭	1	15,21			9,18	
35	小野田工業	63(定)				4	
36	美祢青嶺	4,22	63		17,20	10	
37	田部		1,13		18	20	

山口県高等学校文化連盟自主事業等実施校一覧 (No.2)

数字は実施年度(62～63は昭和、1～27は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

番号		自 主 事 業					補助事業
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室			
				劇団のんた	宇部芸術座	劇団海峡座	
38	西市		63	22		27	23
39	豊浦						
40	長府	1					26
41	下関西						19
42	下関南	22					
43	響	5	1				
44	豊北	62	3			15,22	
45	下関中央工業		12			6	
46	下関工業	62	25			2	19,20,22
47	大津緑洋 大津校舎	63	12		5		
	日置校舎	63,5,9,15	19		25	2,13,23	22
	水産校舎		12				
48	萩	63	3			6	24
49	萩商工	63	6,7,16	23	9	2,4,12,17	
50	奈古	11,17(分)	1,9,24			26	
51	下関中等教育				5		
52	岩国総合支援	3,13,16	24	10,19			
53	田布施総合支援	6,17	62				
54	周南総合支援	15,17,20					
55	徳山総合支援	1,11					
56	防府総合支援	62,63,3,12,26	16				
57	山口南総合支援						
58	山口総合支援	19	14				
59	宇部総合支援	63,5,14	1,9	18			
60	下関南総合支援	63,3,8,10,16	7,25			1	
61	下関総合支援	2,6	16				
62	豊浦総合支援	11,13,16,23	26			19,21	20,27
63	萩総合支援	6,24					
64	下関商業	14(定)					
65	高水			62			
66	柳井学園	6		63			
67	聖光		2				
68	山口県桜ヶ丘						
69	誠英				7	9	
70	高川学園						
71	中村女子	63	2,5,22		11	16	
72	野田学園	63	18				
73	山口県鴻城		10		12,15		
74	宇部鴻城		7		9		
75	慶進		23				21
76	成進						
77	宇部フロンティア香川		1,5,15		11,19		
78	サビエル						
79	早鞆						
80	下関短期大学付属	62,63,4,7,24,26			8		
81	長門		6				
82	萩光塩学院						

平成27年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告

月	日	事 業	会 場
4	13	会計監査	山口中央高校
	21	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	8	高文連評議員会 平成26年度集録「高文連」発行	山口市：セントコア山口
	19	公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会	東京：アイビーホール
	23～24	県高校総合文化祭「将棋部門」(主管：徳山高校)	防府市文化福祉会館
	23	県高校総合文化祭(小倉百人一首かるた)	小野田高校
6	1	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	山口市徳地文化センター(防府高校佐波分校)
	9	自主事業 青少年劇場小公演「リコーダーとともに」	熊毛南高校
	11	第37回県高校総合文化祭総合開会式(主管：大津緑洋高校)	ルネッサながと
	12～13	県高校総合文化祭音楽4部門発表会(主管：大津緑洋高校・長北地区)	ルネッサながと
	20	県高校総合文化祭「日本音楽部門」(主管：田布施農工高校)	サンビームやない
	22	自主事業 青少年劇場小公演「となりの国の太鼓と踊り」	山口高校徳佐分校
	26	第26回中国地区高文連関係者合同会議	岡山県倉敷市：倉敷物語館
	30	自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」	小野田高校定時制
7	18～20	全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会	滋賀県 大津市 近江神宮
	28～1	(公社)全国高等学校文化連盟各専門部会	滋賀県
	28～1	第38回全国高等学校総合文化祭	滋賀県
	29	(公社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	滋賀県：大津市
8	29～30	第26回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場大劇場
9	19～20	県高校総合文化祭「書道部門」(主管：山口高校)	山口市民会館
	25	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	山口高校(山口市民会館)
10	1	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	周防大島高校(橘総合センター)
	2	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	宇部西高校
	5	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	豊浦総合支援学校
	5	自主事業 巡回演劇「劇団のんた」	柳井商工高校
	8	自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」	西市高校
	14	県高校総合文化祭「文芸部門」(主管：徳山高校)	徳山高校
	24～25	県高等学校総合文化祭「演劇部門」(主管：下関西高校)	下関市民会館
	25	県高校総合文化祭「囲碁部門」(徳山商工高校)	徳山商工高校
	28	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	田布施農工高校
	30～1	第18回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会	広島県呉市：総合体育館オークアリーナ武道場
11	6	第17回高校生文芸道場中国ブロック大会	島根県出雲市：ビッグハート出雲
	6～8	県高校総合文化祭「写真部門」(主管：新南陽高校)	新南陽ふれあいセンター
	7	県高校総合文化祭「放送部門」(主管：光高校)	ニューメディアプラザ山口
	7～8	山口県中学校文化連盟第11回総合文化祭 周防大島大会	周防大島町大島文化センター
	14～15	第35回近畿高等学校総合文化祭(鳥取大会)	鳥取県内各地
	13～15	県高校総合文化祭「美術・工芸部門」(主管：岩国総合高校)	シンフォニア岩国
	19	第1回高文連専門部理事長会	山口中央高校
	20～22	第35回近畿高等学校総合文化祭(鳥取大会)	鳥取県内各地
	21～22	第53回中国地区高等学校演劇発表会	広島県広島市：アステールプラザ
	30～1	第27回全国高等学校文化連盟研究大会(愛媛大会)	愛媛県松山市：ひめぎんホール
12	1	全国高等学校文化連盟実務担当者会議	愛媛県松山市：ひめぎんホール
	19～20	第19回中国高等学校囲碁選手権大会	広島県尾道市：尾道市公会堂別館
	19～20	第14回中国地区高等学校将棋選手権大会	広島県広島市：法華クラブ広島
1	28	第2回高文連専門部理事長会	山口中央高校
	28～30	第24回全国高等学校文化連盟将棋新人大会	熊本県阿蘇市：阿蘇の司ピラパークホテル
	30～31	第1回中国地区高等学校放送コンテスト	広島県広島市：アステールプラザ
2	15	第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3	18	平成27年度中国地区高文連実務担当者会議	岡山県総社市：岡山県立総社南高等学校
	28	第35回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート(主管：岩国高校)	シンフォニア岩国
【その他】 各専門部会……部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定 ※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室(山響)2公演 ※青少年劇場小公演2公演 ※補助事業4公演			

平成27年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

収入総額	¥ 18,582,746
支出総額	¥ 16,112,440
差引残高	¥ 2,470,306

収入の部		(単位：円)		
区 分	予 算 額	決 算 額	増減額 (減△)	摘 要
繰越金	2,984,092	2,984,092	0	
会 費	12,073,000	12,115,450	42,450	
(内訳)	11,903,500 67,500 102,000	11,948,300 64,550 102,600	44,800 △ 2,950 600 0	全日制350円×34,138人 定時制・総合支援学校 50円×1291人 学校負担金 100円×1026学級
補助金	4,899,000	3,345,576	△ 1,553,424	
(内訳)	525,000 4,374,000	525,000 2,720,576 100,000	0 △ 1,653,424 100,000	県総文祭補助金 (ルネッサながと) 山口県より 全総文祭補助金 (滋賀県) 山口県より 県総文祭 長門市より 全総文祭 参加校より
参加負担金	136,000	136,000	0	
調整基金から繰入	500,000	0	△ 500,000	
雑 収 入	908	1,628	720	利息等
合 計	20,593,000	18,582,746	△ 2,010,254	

支出の部		(単位：円)		
区 分	予 算 額	決 算 額	残額(超過△)	摘 要
運営費	1,820,600	1,674,284	146,316	
(内訳)				
事務費	400,000	373,291	26,709	事務機器維持費 事務用品 ホームページ維持管理費
通信費	350,000	342,543	7,457	電話 郵便 運送料等 傷害保険料
分担金	520,600	520,600	0	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費
賃 金	550,000	437,850	112,150	事務補助賃金
会 議 費	1,700,000	1,610,515	89,485	全国(県外)会議 県内会議 研究大会 研究大会参加費 中国大会地区会議 県総文祭準備委員会 会議用お茶等
事業費	15,387,200	12,827,641	2,559,559	
(内訳)				
県総文祭	6,250,000	5,121,921	1,128,079	総合開会式 各部門大会開催費
全総文祭	4,380,000	3,297,486	1,082,514	生徒旅費補助 引率旅費補助 運送費 参加負担金
自主事業	1,839,200	1,839,200	0	自主事業7公演 補助事業4公演
大会補助金	50,000	50,000	0	特別支援学校文化祭
専門部会費	2,523,000	2,174,762	348,238	研修費 全国分担金 役員旅費・保険等
印刷費	330,000	338,364	△ 8,364	集録 会報 県総文誌 スカー 賞状 A4封筒
中高連携費	15,000	5,908	9,092	中高文連交流事業
調整基金	0	0	0	
予 備 費	1,685,200	0	1,685,200	
合 計	20,593,000	16,112,440	4,480,560	

平成27年度 調整基金会計決算書

(単位：円)		
前年度繰越	一般会計へ繰出	今年度末残高
9,400,000	0	9,400,000

上記の通り相違ありません
平成28年 4月 11日

監事

清水 利宏



監事

栗林 正和



平成28年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画

月	日	事 業	会 場
4	11	会計監査	山口中央高校
	21	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	13	高文連評議員会 平成27年度集録「高文連」発行	山口市：セントコア山口
	24	公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会	東京：アイビーホール
	28	県高校総合文化祭(小倉百人一首かるた)	小野田高校
	28～29	県高校総合文化祭「将棋部門」(主管：徳山高校)	防府市文化福祉会館
6	8	自主事業 青少年劇場小公演「リコーダーとともに」	防府総合支援学校
	16	第38回県高校総合文化祭総合開会式(主管：山口中央高校)	山口市民会館
	17～18	県高校総合文化祭音楽4部門発表会(主管：防府商工高校・山防支部)	山口市民会館
	18	県高校総合文化祭「日本音楽部門」(主管：宇部鴻城高校)	宇部市文化会館
7	1	第27回中国地区高文連関係者合同会議	岡山県岡山市：岡山プラザホテル
	23～24	全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会	滋賀県 大津市 近江神宮
	30～3	(公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会	広島県
	30～3	第40回全国高等学校総合文化祭	広島県
	31	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	広島県：広島市
8	27～28	第27回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場大劇場
9	8	自主事業 青少年劇場小公演「となりの国の太鼓と踊り」	下関工業高校
	14	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	厚狭高校
	26	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	豊北高校
	26	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	宇部西高校
10	14	県高校総合文化祭「文芸部門」(主管：光丘高校)	光丘高校
	18	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	下関西高校(下関市生涯学習プラザ 海のホール)
	20	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	光丘高校(光市民ホール)
	22～23	県高校総合文化祭「書道部門」(主管：岩国総合高校)	シンフォニア岩国
	23	県高校総合文化祭「囲碁部門」(主管：山口高校)	防府商工高校
	29～30	県高等学校総合文化祭「演劇部門」(主管：岩国総合高校)	シンフォニア岩国
	29～30	第19回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会	岡山県倉敷市：水島武道場
11	2	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	熊本南高校
	5	県高校総合文化祭「放送部門」(主管：光高校)	ニューメディアプラザ山口
	9	自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」	下関短期大学付属高校
	11～13	県高校総合文化祭「美術・工芸部門」(主管：下松高校)	周南市美術博物館
	11～13	県高校総合文化祭「写真部門」(主管：新南陽高校)	周南市美術博物館
	12	第18回高校生文芸道場中国ブロック大会	岡山県岡山市：おかやま西河原プラザ
	12～13	山口県中学校文化連盟第12回総合文化祭 長門大会	ルネッサなかと
	16	自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」	宇部フロンティア大学付属香川高校
	21	自主事業 巡回演劇「劇団のんた」	周防大島高校(橘総合センター)
		第1回高文連専門部理事長会	山口中央高校
	25～27	第54回中国地区高等学校演劇発表会	岡山県総社市：総社市民会館
12	1～2	第28回全国高等学校文化連盟研究大会(栃木大会)	栃木県宇都宮市：栃木県総合文化センター
	2	全国高等学校文化連盟実務担当者会議	同上
	17～18	第20回中国高等学校囲碁選手権大会	島根県出雲市：パルメイト
	17～18	第15回中国地区高等学校将棋選手権大会	周南市：ザ・グラマシー
1	～	山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会	山口中央高校または大観中学校
	28～29	第25回全国高等学校文化連盟将棋新人大会	
		第2回中国地区高等学校放送コンテスト	広島県広島市：広島市青少年センター
		第2回高文連専門部理事長会	山口中央高校
2		第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3		平成28年度中国地区高文連実務担当者会議	岡山県岡山市：岡山県立岡山城東高等学校
		マーチングバンド・パトワリング講習会	
	28	第36回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート(主管：下関中等教育学校)	下関市生涯学習プラザ 海のホール
【その他】 各専門部会……部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定 ※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室(山響)2公演 ※青少年劇場小公演2公演 ※補助事業4公演			

平成28年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書

収入総額 ￥20,024,900

支出総額 ￥20,024,900

収入の部				(単位 ; 円)
区 分	予 算 額	前年度予算額	増減額 (減△)	摘 要
繰 越 金	2,470,306	2,984,092	△ 513,786	
会 費	11,995,000	12,073,000	△ 78,000	
(内訳)				
	11,830,000	11,903,500	△ 73,500	全日制350円×33,800人
	63,000	67,500	△ 4,500	定時制・総合支援学校 50円×1260人
	102,000	102,000	0	学校負担金 100円×1020学級
補 助 金	4,119,000	4,899,000	△ 780,000	
(内訳)				
	525,000	525,000	0	県総文祭補助金 (山口市民会館)
	3,594,000	4,374,000	△ 780,000	全総文祭補助金 (広島県)
参加負担金	140,000	136,000	4,000	全総文祭
調整基金から繰入	1,300,000	500,000	800,000	
雑 収 入	594	908	△ 314	利息等
合 計	20,024,900	20,593,000	△ 568,100	

支出の部				(単位 ; 円)
区 分	予 算 額	前年度予算額	増減額 (減△)	摘 要
運 営 費	1,781,400	1,820,600	△ 39,200	
(内訳)				
事 務 費	360,000	400,000	△ 40,000	事務機器維持費 事務用品 ホームページ維持管理費等
通 信 費	350,000	350,000	0	電話 郵便 運送料等
分 担 金	521,400	520,600	800	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費
賃 金	550,000	550,000	0	事務補助賃金
会 議 費	2,450,000	1,700,000	750,000	
(内訳)				
会 議 費	350,000	370,000	△ 20,000	大会参加費 委員会・理事会・県総文祭次年度準備委員会 旅費 会議用お茶代等、保険料
旅 費	2,100,000	1,330,000	770,000	全国会議(広島) 中国地区会議 (岡山) 研究大会(栃木) 全総文祭視察派遣旅費(広島) 県内視察
事 業 費	15,418,600	15,387,200	31,400	
(内訳)				
県総文祭	6,851,000	6,250,000	601,000	総合開会式 各部門大会開催費
全総文祭	3,793,000	4,380,000	△ 587,000	生徒旅費補助 引率旅費補助 運搬費 参加負担金
自主事業	1,839,200	1,839,200	0	自主事業7公演 補助事業4公演
大会補助金	150,000	50,000	100,000	将棋部門中国大会 特別支援学校文化祭
専門部会費	2,475,400	2,523,000	△ 47,600	研修費 全国分担金 役員旅費・保険等
印 刷 費	300,000	330,000	△ 30,000	集録 会報 県総文ボースター
中高連携費	10,000	15,000	△ 5,000	中高文連交流事業
調 整 基 金	0	0	0	
予 備 費	374,900	1,685,200	△ 1,310,300	
合 計	20,024,900	20,593,000	△ 568,100	

平成28年度 調整基金会計予算書

(単位 ; 円)

前年度繰越	一般会計へ繰出	今年度末残高
9,400,000	1,300,000	8,100,000

山口県高等学校文化連盟規約

昭和62年4月1日制定
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成21年4月1日改正
平成22年4月1日改正
平成23年5月6日改正
平成25年5月10日改正

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

- 2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

- 2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠

剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学、小倉百人一首かるたの各部門とする。

第2章 役員

(役員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- | | |
|------------|-----------|
| (1) 会 長 | 1 人 |
| (2) 副会長 | 若干人 |
| (3) 評議員 | 各加盟校ごとに1人 |
| (4) 支部長 | 7 人 |
| (5) 専門部会長 | 16人 |
| (6) 専門部理事長 | 16人 |
| (7) 監 事 | 2 人 |
| (8) 参 与 | 若干人 |

(役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第3章 会 議

(会 議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会
- (2) 企画運営委員会

(3) 理事長会

- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項
 - (2) 会務の運営及び執行に関する事項
 - (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
 - 3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
 - 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項
- (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第4章 会 計

(経 費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の加盟費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第5章 事務局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運 営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第6章 雑 則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会 計 規 程]

昭和62年 4 月 1 日制定
平成 4 年 4 月 1 日改正
平成 5 年 4 月 1 日改正
平成 8 年 4 月 1 日改正
平成20年 4 月 1 日改正
平成23年 5 月 6 日改正

- 第 1 条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。
- 第 2 条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。
- 第 3 条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第 4 条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。
- 第 5 条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第 6 条 各高等学校は、毎年 5 月 31 日までに、加盟費を納入するものとする。
- 加盟費内訳
- ①各高等学校生徒数に以下の金額を乗じたもの
- | | |
|-------------------|------|
| (全日制生徒) | 350円 |
| (定時制、特別支援学校高等部生徒) | 50円 |
- ②各学校の学級数に100円を乗じたもの。(定時制、特別支援学校は除く)
- 第 7 条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める

附 則

この規程は、昭和62年 4 月 1 日から実施する。

[事 務 局 規 程]

昭和62年 4 月 1 日制定
昭和62年 7 月 14 日改正
平成23年 5 月 6 日改正

- 第 1 条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。
- 第 2 条 事務局に次の職員を置く。
- (1) 事務局長
- (2) 事務局員 ア 事務局次長 イ 総務係 ウ 会計係
- 第 3 条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。
- 第 4 条 事務局次長は、事務局長を補佐する。
- 第 5 条 事務局総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書等に関する事項を分掌する。
- 第 6 条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。
- 第 7 条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。
- 第 8 条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。
- 第 9 条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年 4 月 1 日から実施する。

山口県高等学校文化連盟表彰規程

昭和62年4月1日制定

昭和62年7月14日改正

平成元年4月1日改正

平成2年4月1日改正

平成6年4月1日改正

平成8年4月1日改正

平成15年4月1日改正

平成18年4月1日改正

平成24年5月11日改正

平成25年5月10日改正

平成26年5月9日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

(1) 文化功労賞

(2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数120名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

(1) 人格、識見共に優秀と認める者

(2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、各専門部において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。表彰は退職する年度または退職後に行う。ただし、専門部理事長を3期6年勤めた者は退任時に表彰することができる。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、第10条功績賞対象者のうち、全国高等学校総合文化祭表彰規定により表彰された部の指導を行った者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。
本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟旅費支給基準

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定

昭和63年4月1日制定

平成元年4月1日制定

平成11年4月1日改正

平成13年4月1日改正

平成16年4月1日改正

平成22年4月1日改正

平成28年5月13日改正

第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。

第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費の引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。

生徒は、〔交通費実費（学割・団体割引）＋宿泊費（大会規定料金）×2〕×1/3とする。

※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

ただし、特殊な事情がある場合はその都度協議し会長が決定する。

[調整基金細則規定]

第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。

第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。

第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。

第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の議決によりこれを処分することができる。

附 則

1 この規定は、昭和62年4月1日から施行する。

2 この細則の施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

平成27年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支 部 ・ 専 門 部	所 属 校
会 長	吉 本 晃		山 口 中 央 高 校
副 会 長	倉 田 伸 治		徳 山 高 校
	小 林 真 高		柳 井 高 校
	中 村 芳 喜		早 鞆 高 校
参 与	伴 浩 一		山 口 高 校
支 部 長	奈 迫 忠 夫	岩 国 支 部	岩 国 高 校
	小 林 真 理	柳 井 支 部	柳 井 高 校
	倉 田 伸 治	徳 山 支 部	徳 山 高 校
	宮 地 政 利	山 防 支 部	防 府 高 校
	岩 本 龍 治	宇 部 支 部	宇 部 高 校
	首 藤 裕 司	下 関 支 部	下 関 西 高 校
	西 村 佳 子	長 北 支 部	萩 高 校
専 門 部 会 長	岩 本 龍 治	演 劇 部 門	宇 部 高 校
	斎 藤 嗣 夫	器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	下 関 南 高 校
	牛 見 正 彦	合 唱 部 門	野 田 学 園 高 等 学 校
	岩 本 龍 治	吹 奏 楽 部 門	宇 部 高 校
	岩 本 龍 治	マーチンクバンド・バトントワリング部	宇 部 高 校
	小 林 真 理	日 本 音 楽 部 門	柳 井 高 校
	(休 部)	吟 詠 剣 詩 舞 部 門	(休 部)
	小 林 真 理	美 術 ・ 工 芸 部 門	柳 井 高 校
	大 木 恒 史	書 道 部 門	下 関 中 等 教 育 学 校
	須 藤 恒 隆	写 真 部 門	新 南 陽 高 校
	河 倉 村 伸 治	囲 碁 部 門	徳 山 商 工 高 校
	河 口 郁 史	将 棋 部 門	徳 山 高 校
	倉 田 伸 治	放 送 部 門	光 高 校
	倉 田 伸 治	文 芸 部 門	徳 山 高 校
	岩 本 龍 治	自 然 科 学 部 門	宇 部 高 校
	尾 崎 敬 子	小 倉 百 人 一 首 か る た 部 門	小 野 田 高 校
専 門 部 理 事 長	新 竹 伸 芳	演 劇 部 門	宇 部 高 校
	秋 本 隆 陸	器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	下 関 南 高 校
	田 中 博 資	合 唱 部 門	野 田 学 園 高 校
	志 道 博 資	吹 奏 楽 部 門	宇 部 高 校
	志 道 博 資	マーチンクバンド・バトントワリング部	宇 部 高 校
	杉 尾 文 子	日 本 音 楽 部 門	柳 井 高 校
	(休 部)	吟 詠 剣 詩 舞 部 門	(休 部)
	濱 崎 洋 子	美 術 ・ 工 芸 部 門	柳 井 高 校
	河 合 和 子	書 道 部 門	下 関 中 等 教 育 学 校
	尾 崎 勝 利	写 真 部 門	新 南 陽 高 校
	河 口 明 史	囲 碁 部 門	徳 山 商 工 高 校
	弘 中 敏 之	将 棋 部 門	徳 山 高 校
	徳 永 志 保	放 送 部 門	光 高 校
	桑 原 範 恵	文 芸 部 門	徳 山 高 校
	大 田 和 子	自 然 科 学 部 門	宇 部 高 校
	青 池 のぞみ	小 倉 百 人 一 首 か る た 部 門	小 野 田 高 校
監 事	河 本 太 宏		防 府 商 工 高 校
	清 水 利 宏		西 京 高 校
事 務 局 長	西 村 正 浩		山 口 中 央 高 校
事 務 局 次 長	中 明 聖 晴		山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (会 計)	佐 々 木 靖 子		山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (庶 務)	佐 賀 ひろ子		嘱 託

平成28年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支 部 ・ 専 門 部	所 属 校
会 長	吉 本 晃		山 口 中 央 高 校
副 会 長	倉 田 伸 治		徳 山 高 校
	御 神 本 実		柳 井 高 校
	中 村 芳 喜		早 鞆 高 校
参 与	高 原 透		山 口 高 校
支 部 長	奈 迫 忠 夫	岩 国 支 部	岩 国 高 校
	御 神 本 実	柳 井 支 部	柳 井 高 校
	倉 田 伸 治	徳 山 支 部	徳 山 高 校
	宮 地 政 利	山 防 支 部	防 府 高 校
	岩 本 龍 治	宇 部 支 部	宇 部 高 校
	首 藤 裕 司	下 関 支 部	下 関 西 高 校
	西 村 佳 子	長 北 支 部	萩 西 高 校
専 門 部 会 長	岩 本 龍 治	演 劇 部 門	宇 部 高 校
	斎 藤 嗣 夫	器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	下 関 南 高 校
	西 村 佳 子	合 唱 部 門	萩 高 校
	岩 本 龍 治	吹 奏 楽 部 門	宇 部 高 校
	岩 本 龍 治	マーチンクバンド [※] ・バトントワリング部	宇 部 高 校
	御 神 本 実	日 本 音 楽 部 門	柳 井 高 校
	(休 部)	吟 詠 剣 詩 舞 部 門	(休 部)
	倉 田 伸 治	美 術 ・ 工 芸 部 門	徳 山 高 校
	大 木 恒 史	書 道 部 門	下 関 中 等 教 育 学 校
	須 藤 恒 透	写 真 部 門	新 南 陽 高 校
	高 原 伸 治	囲 碁 部 門	山 口 高 校
	倉 田 郁 史	将 棋 部 門	徳 山 高 校
	河 口 藤 隆 昌	放 送 部 門	光 高 校
	伊 藤 本 龍 治	文 芸 部 門	光 丘 高 校
	岩 國 吉 哲 郎	自 然 科 学 部 門	宇 部 高 校
		小 倉 百 人 一 首 か る た 部 門	小 野 田 高 校
専 門 部 理 事 長	新 竹 伸 芳 隆	演 劇 部 門	宇 部 高 校
	秋 本 ま な み	器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	下 関 南 高 校
	松 屋 博 資	合 唱 部 門	萩 高 校
	志 道 博 資	吹 奏 楽 部 門	宇 部 高 校
	志 道 博 資	マーチンクバンド [※] ・バトントワリング部	宇 部 高 校
	杉 尾 文 子	日 本 音 楽 部 門	柳 井 高 校
	(休 部)	吟 詠 剣 詩 舞 部 門	(休 部)
	濱 崎 洋 子	美 術 ・ 工 芸 部 門	徳 山 高 校
	河 合 和 子	書 道 部 門	下 関 中 等 教 育 学 校
	尾 崎 勝 利	写 真 部 門	新 南 陽 高 校
	眞 當 良 洋	囲 碁 部 門	山 口 高 校
	弘 中 敏 之 保	将 棋 部 門	徳 山 高 校
	徳 永 志 直 子	放 送 部 門	光 丘 高 校
	松 永 直 和 子	文 芸 部 門	光 丘 高 校
	大 田 和 子	自 然 科 学 部 門	宇 部 高 校
	青 池 の ぞ み	小 倉 百 人 一 首 か る た 部 門	小 野 田 高 校
監 事	栗 林 正 和		防 府 商 工 高 校
	清 水 利 宏		西 京 高 校
事 務 局 長	西 村 正 浩		山 口 中 央 高 校
事 務 局 次 長	中 明 聖 晴		山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (会 計)	佐 々 木 靖 子		山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (庶 務)	佐 賀 ひ ろ 子		山 口 中 央 高 校 託

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定

向 川 栄 美 作 詞

乗 松 美 紀 作 曲



1. てをのばせば ほら きっとだれかがささえてくれる
2. よびかければ ほら きっとだれかがこたえてくれる



みーわたせ ー ば ほら なかまがいつでもそばにいる きみ
こころをひらけ ば ほら なかまがいつでもまっている きみ



は ひとりじゃない さあ ある きだ そ う
は ひとりじゃない さあ は ばた こ う



ほくらのぶんか を つく る ため ー に
ほくらのぶんか を きず く ため ー に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きっと誰かが支えてくれる

見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きっと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ はばた 翔こう

僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟
「高文連」編集委員

(各 部 門)

演	劇	新 竹 伸 芳	(宇 部 高 等 学 校)
合	唱	田 中 睦	(野 田 学 園 高 等 学 校)
吹	奏 楽	志 道 博 資	(宇 部 高 等 学 校)
器 楽 ・ 管 弦 楽		秋 本 隆	(下 関 南 高 等 学 校)
日 本 音 楽		杉 尾 文 子	(柳 井 高 等 学 校)
マーチングバンド・パントフリング		志 道 博 資	(宇 部 高 等 学 校)
美 術 ・ 工 芸		濱 崎 洋	(柳 井 高 等 学 校)
書	道	河 合 和 子	(下 関 中 等 教 育 学 校)
写	真	尾 崎 勝 利	(新 南 陽 高 等 学 校)
放	送	徳 永 志 保	(光 高 等 学 校)
囲	碁	河 口 明 史	(徳 山 商 工 高 等 学 校)
将	棋	弘 中 敏 之	(徳 山 高 等 学 校)
小倉百人一首かるた		青 池 のぞみ	(小 野 田 高 等 学 校)
文	芸	桑 原 範 恵	(徳 山 高 等 学 校)
自 然 科 学		大 田 和 子	(宇 部 高 等 学 校)

事 務 局 長	西 村 正 浩	(山 口 中 央 高 等 学 校)
事 務 局 次 長	中 明 聖 晴	(山 口 中 央 高 等 学 校)
事 務 局 員 (総 務)	佐々木 靖 子	(山 口 中 央 高 等 学 校)
事 務 局 員 (庶 務)	佐 賀 ひろ子	(山 口 中 央 高 等 学 校)



平成27年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高 文 連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電 話 083-922-0032
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／中 山 瑠璃子
(山口中央高校2年)